令和7年度使用中学校教科用図書
調査報告書

4市合同調査員会

目 次

国 語	1
国 語 (書 写)	7
社会 (地理的分野)	13
社会 (歴史的分野)	19
社会 (公民的分野)	31
社 会 (地 図)	39
数 学	43
理 科	53
音 楽 (一 般)	61
音 楽 (器 楽 合 奏)	65
美 術	69
保 健 体 育	75
技 術 ・ 家 庭 (技 術 分 野)	81
技 術 ・ 家 庭 (家 庭 分 野)	87
外 国 語 (英 語)	93
道 徳	101

国語

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新しい国語	<p>○教育基本法第2条に基づき、豊かな人間性と社会性を育み、生涯学び続ける姿勢を養えるよう、生徒の関心や発達段階を踏まえて提示されている。</p> <p>○教科書全体を通して『未来を考えるための9つのテーマ』があり、国語の学習を通して自分や社会の課題と向き合えるように工夫されている。</p>
三省堂	現代の国語	<p>○『領域別教材一覧』の中で、教材ごとに学習指導要領で示されている育成する資質・能力と単元の関連が図られている。</p> <p>○『学びの道しるべ』の中で、『思考の方法』が教材ごとにイラストで分かりやすく示されているため、生徒の学習活動が円滑に進むよう工夫されている。</p>
教出	伝え合う言葉 中学国語	<p>○教育基本法第2条に基づき、学習過程において自分の考えを伝え合う場などが設定できるように『学びナビ』が提示されている。</p> <p>○複数領域の学習教材をSDGsの視点でまとめた単元が全学年において取り入れられており、論理的な思考力を高め、深められる題材が配置されている。</p>
光村	国語	<p>○学習指導要領に関連した「資質・能力の3つの柱」を育成すべく、言葉の力を習得・活用することで未知なる世界への適応、解決に繋げる工夫がされている。</p> <p>○『語彙ブック』によって、自分の思考や感情を的確に言語化するための力を、各学年の発達段階や教材の内容に応じて系統的に獲得できるように工夫されている。</p>

国語

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい国語
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に基づき、国語の学習を通して、豊かな人間性と社会性を育み、生涯学び続ける姿勢を養えるよう、多様な分野から教材を選定し、生徒の関心や発達段階を踏まえて提示されている。</p> <p>○学校教育法第21条1項に関連して、協働的な学習を通して、個々の興味や関心、ものの見方や価値観の交流を行い、多様な個性を認め合い尊重する態度を養うよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各教材冒頭に、キャラクターによる生徒目線の「問いかけ」が示されており、生徒が学習の見通しを持って主体的に学べるように工夫されている。</p> <p>○各教材末の「振り返る」で、生徒が学習した「言葉の力」を自分の言葉で言語化して確認でき、育成すべき資質・能力を確実に習得できるように工夫されている。</p> <p>○教科書全体を通して、『未来を考えるための9つのテーマ』（『自己と他者』『学校・社会』『科学と探求』『安全・防災』『情報社会』『多様性』『伝統と文化』『地球環境』『平和・国際理解』）が設定されており、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各教材では9つのテーマとの関連が図られている。国語の学習を通して自分や社会の課題と向き合えるように工夫されている。</p> <p>○豊富なデジタルコンテンツを授業や家庭学習のあらゆる場面で活用することができ、生徒が自ら判断してコンテンツを利用することで個別最適な学びを実現できるように工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○十分な強度を保ちつつ、軽量化が図られており、生徒の身体的負担を軽減するための配慮がされている。</p> <p>○物語、説明文の本文の下には、5行ごとの行数字に加え、1行ごとに行を示す「・」があり、読みやすくなっている。</p>

国語

発行者の略称	三省堂
書名	現代の国語
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に基づき、幅広い分野の教材が掲載されており、生徒の発達段階に合わせて、生徒が身に付ける資質・能力が明確にされている。</p> <p>○『領域別教材一覧』の中で、教材ごとに学習指導要領で示されている育成する資質・能力と単元の関連が分かりやすくまとめられており、『何を学ぶのか』『どのように学ぶのか』『何ができるようになったか』を生徒が理解しやすい工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○「読むこと」に関する教材では、『学びの道しるべ』が示されており、『思考の方法』が教材ごとにイラストで分かりやすく提示されているため、生徒の学習活動が円滑に進むよう工夫されている。</p> <p>○和歌を扱った単元では、アニメ映画である「言の葉の庭」を扱った和歌が掲載されるなど、伝統的な言語文化の世界に親しみやすくするための工夫がされている。</p> <p>○読書活動の充実を図るために、全学年に『小さな図書館』のページが設けられている。また、二次元コードを読み取ると、著者のメッセージを見ることができ、本に親しむための工夫がされている。</p> <p>○全学年『読み方を学ぼう』が設けられており、説明的文章と物語文章の基本構造がガイドによって分かりやすく説明されているため、その後の読み物教材の理解が深まる工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○ユニバーサルデザインの観点から、誰にでも読みやすく学びやすい書体が使用されている。また、図版も大きく掲載されており、見やすい工夫がされている。</p> <p>○製本上の工夫でページが開きやすく、閉じにくい設計のため、生徒が学習しやすい。また、目が疲れにくい白色度の用紙を使用しているため、生徒の学習に対する負担軽減の工夫がされている。</p>

発行者の略称	教出
書名	伝え合う言葉 中学国語
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に基づき、学習過程において互いの立場を尊重しながら、自分の考えを伝え合う場を設定し、自ら学び自ら生きる力を培うことができるように配慮されている。</p> <p>○学校教育法第30条2項に基づき、社会的活動を促進するためにSDGsに関連している教材が全学年に設けられており、生徒が社会を生きていくための「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫がされている。また、各単元での目標を明示し、全学年で系統的・段階的に学習が進められるように構成されている。</p>
内容と構成	<p>○単元のはじめに学習目標や着目すべき視点を示す『学びナビ』が提示されている。また、教材の終わりには『みちしるべ』が設定されており、教材を読み深めたり、自分の考えを伝え合ったりすることができるように工夫されている。</p> <p>○複数領域の学習教材をSDGsの視点でまとめた単元が全学年において取り入れられており、論理的な思考力を高め、深められる題材が配置されている。</p> <p>○『まなびリンク』（二次元コード）によって、作者や筆者のメッセージ動画などの多様な資料が用意されている。</p> <p>○全学年に『学びのチャレンジ』というページが設けられており、身に付けた資質・能力を活用する工夫がされている。特に、非連続型テキストの読み取りが重視されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○物語・説明文の本文の下には5行ごとの行数字に加え、1行ごとに行を示す「・」があり、行数を数えやすい工夫がされている。</p> <p>○本文中で使われている書体は、ユニバーサルデザインに対応した独自の書体になっている。1年生は2、3年生より文字が大きく、行間を広くするなど発達段階に応じた工夫が見られる。</p>

国語

発行者の略称	光村
書名	国語
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領に関連した「資質・能力の3つの柱」を育成すべく、課題解決のための言葉の力を習得・活用することで今後の諸課題や未知なる世界への適応、解決に繋げる工夫がされている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンの「たくましく生きる力」に関連して、各教材の手引きとして『学びへの扉』と『学びのカギ』を示し、資質・能力（『学びのカギ』）を使って課題（『学びへの扉』）を解決しながら集めたカギを次の学びに生かすことで、実生活に役立つ課題解決能力が身に付くよう配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○SDGsを題材に、3学年を通して情報活用能力を養う『情報×SDGs』を設置し、社会へと視野を広げ、生徒の実生活や将来に生きる情報活用の方法を学べるように工夫されている。</p> <p>○『語彙ブック』によって、たくさんの言葉に出会い、自分の思考や感情を的確に言語化するための力を、各学年の発達段階や教材に応じて系統的に獲得できるように工夫されている。</p> <p>○体験活動に繋げるために、動画や音声などのデジタルコンテンツを多数提示し、習得した国語の資質・能力がより実践的、実用的に活用できるようになっている。</p> <p>○国語の資質・能力、および語彙の習得段階で予想される困難に対応すべく、『書くことのミニレッスン』や『表現テーマ例集』を取り入れ、言語活動を円滑に進められるような工夫がなされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○本文には、教科書のためにデザインした光村明朝体を用いている。読みやすいだけでなく、画数や点画の形などが手書きの文字と齟齬のないように調整されている。</p> <p>○図表は、色覚特性によって判別しにくくなるような色の組み合わせは行わず、色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できるようになっている。</p>

国語（書写）

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい書写 一・二・三年	<p>○かながわ教育ビジョンに示されている「思いやる力」に関連して、外国人観光客や人権、福祉に関連する話題を取り上げるなど、他者を尊重し、多様性を認め合う力を育てられるよう配慮されている。</p> <p>○他教科のノート例や防災パンフレットなど、他教科と関連している単元・教材には『教科関連マーク』がつけられ、意識付けが図られている。</p>
三省堂	現代の書写 一・二・三	<p>○かながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連して、日常生活・社会生活で使う言葉や書き方を硬筆で練習し、手紙を書くなど、社会生活で生かせるように工夫がされている。</p> <p>○冒頭部では小学校までの既習事項が整理され、さらに第3学年の教材や『書写の広場』では発展的な内容を取り上げて高校書道への興味・関心を広げることで系統的な学習がなされている。</p>
教出	中学書写	<p>○学習指導要領で求められている3つの柱を育むために、「書く力」「学び方」「活用する力」の3つの力を軸に内容を構成し、幅広い知識と教養の中から生徒が自ら課題を見つけ、解決を図れるよう工夫されている。</p> <p>○国語との関連を意識し、硬筆教材に文学作品や古典を扱ったり、文字文化の資料を掲載したりすることで、伝統や文化に関する教育の充実が図られている。</p>
光村	中学書写 一・二・三年	<p>○かながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連して『文字を使い分ける』『日常に役立つ書式』が設定され、学んだことを日常生活に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○別冊『書写ブック』において、毛筆の教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定し、書写の基礎・基本を身に付けられるよう工夫されている。</p>

国語（書写）

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい書写 一・二・三年
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領に示されている「知識・技能」に関連して、学習のポイントを『書写のかぎ』として位置付け、学習過程を3つのステップに統一することで、系統的に学べるように工夫されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連して、お礼状やパンフレットを扱った『生活に広げよう』で、学んだことを生活の中で活用できるよう工夫されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「思いやる力」に関連して、外国人観光客や人権、福祉に関連する話題を取り上げるなど、他者を尊重し、多様性を認め合う力を育てられるよう配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、生活体験を振り返り、学んだことを生活で生かすための話し合いなどが随所に組み込まれ、手で文字を書くことの価値や意義について考えられるよう工夫されている。</p> <p>○『文字と一緒に』で文字文化に関するコラムを取り上げ、『書いて味わおう』で文字文化への関心を培うなど伝統・文化に関する教育の充実が図られている。</p> <p>○デジタルコンテンツが複数用意されており、基本の点画の書き方や教材文字の運筆動画などで、個別最適な学びが想定されている。</p> <p>○右利きでも左利きでも教材文字が見やすいように、硬筆では教材文字を上、書き込み欄を下に配置するなど工夫されている。</p> <p>○他教科のノート例や防災パンフレットなど、他教科と関連している単元・教材には『教科関連マーク』がつけられ、意識付けが図られている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○筆の穂先の位置がわかりやすい淡墨の文字を使用し、見やすい表記となっている。</p> <p>○1単元1事項の構成が多く、学習のポイントを明確化することで限られた時間内で効果的・効率的に学習できるよう配慮されている。</p>

国語（書写）

発行者の略称	三省堂
書名	現代の書写 一・二・三
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に示されている「知識・教養」に関連して、書写の学習を通して「幅広い知識と教養を身に付ける」ことができるよう配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「学びに向かう力・人間性等」に関連して、学習した内容を、多様な場面で自覚的に活用する力が重視された構成になっている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連して、日常生活・社会生活で使う言葉や書き方を硬筆で練習し、手紙を書くなど、社会生活で生かせるように工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、学年末教材『やってみよう』では、生徒同士の対話を通して書写の学習を深められるように工夫されている。</p> <p>○『文字の変遷』や『書の古典』など文字の役割や手書きすることの意義を取り上げて、文字文化への理解を深められるように工夫されている。</p> <p>○『書いて身につけよう』『やってみよう』に国語との関連教材を配置したり、『四十七都道府県名』などで他教科との関連教材を設けたりするなど、教科横断的な学習ができるように工夫されている。</p> <p>○冒頭部では小学校までの既習事項が整理され、さらに第3学年の教材や『書写の広場』では発展的な内容を取り上げて高校書道への興味・関心を広げることで系統的な学習がなされている。</p> <p>○日常生活・社会生活で使う言葉や書き方を硬筆で練習し、実践的な力の定着が図れるように工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○朱墨を使った2色使いの文字の解説図版や、筆の移動を示すマークなどで、視覚的に理解しやすいように工夫されている。</p> <p>○毛筆で学習する教材は見開き2ページで構成され、学習内容がひと目で分かるように工夫されている。</p>

国語（書写）

発行者の略称	教出
書名	中学書写
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1項にある「幅広い知識と教養」を身に付けるため、書写の基礎・基本の知識・技能が段階的かつ丁寧に解説されている。</p> <p>○学習指導要領で求められている3つの柱を育むために、「書く力」「学び方」「活用する力」の3つの力を軸に内容を構成し、生徒が自ら課題を見つけ、解決を図れるよう工夫されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連して、学習活動や日常生活で活用できる力が育成されるような教材を設け、他教科や日常生活との関連に配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○「姿勢」「持ち方」「運筆」を具体的な言葉や写真・図版で丁寧に解説し、書写の基礎・基本が習得できるように工夫されている。</p> <p>○学習過程を「目標→考えよう→生かそう→振り返ろう→日常生活に生かそう」と統一し、また「見える化」することで、内容や手順を明確にして「学び方」がわかるように構成されている。</p> <p>○随所に「話し合い活動」や気づいたことを書き込ませる欄を設け、「主体的・対話的で深い学び」に向けた学習が促されている。</p> <p>○『学習を生かして書く』『書式の教室』において、学校生活や日常生活に関連した教材を取り扱い、生徒が主体的に文字を使えるようになるよう工夫されている。</p> <p>○国語との関連を意識し、硬筆教材に文学作品や古典を扱ったり、文字文化の資料を掲載したりすることで、伝統や文化に関する教育の充実が図られている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○半紙形を維持した紙面や、色覚等の特性をふまえた配色やレイアウトなどを用い、見やすく学びやすいよう配慮されている。</p> <p>○見開き完結型を基本として内容を構成し、生徒が学習の流れを理解しやすいよう工夫されている。</p>

国語（書写）

発行者の略称	光村
書名	中学書写 一・二・三年
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条2項「自主及び自律の精神を養う」に関連して、書写の学習を通して、幅広い知識・教養を身につけるとともに、書写で培った「文字を正しく整えて速く書く力」を国語や他教科、日常の言語生活で生かす態度が育成できるよう配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「確かな学力を育成すること」と「我が国の言語文化に関する事項」の書写の指導事項を系統的かつ効果的に学習できるよう、生徒の発達段階に応じて教材や用語が設けられている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連して『文字を使い分ける』『日常に役立つ書式』が設定され、学んだことを日常生活に生かせるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○生徒が主体的に学習できるように「考えよう」→「確かめよう」→「生かそう」という流れで学習が展開されている。</p> <p>○学んだことが日常生活に生かせるよう、各学年で学校生活や日常生活に生かす『SDGs×書写』などのミニコーナーが設けられている。</p> <p>○デジタルと手書きのそれぞれの良さや特徴について考える頁が設けられている。</p> <p>○別冊『書写ブック』において、毛筆の教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定し、書写の基礎・基本を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○学習のポイントがひと目でわかる『学びのカギ』を設け、学習の内容がわかりやすくなるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○効率よく学習できるよう、主たる学習内容は大きく丁寧に、それに付随する要素は小さく簡潔に示されており、学習のねらいが明確で大切なことがつかみやすいよう工夫されている。</p> <p>○複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが明確に識別できる配色で表記されている。</p>

社会（地理的分野）

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新しい社会 地理	<p>○見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す導入資料を掲載し、えんぴつマークの活動コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるよう配慮がされている。</p> <p>○各章のまとめのページでは単元を貫く課題が記載されており、課題に対して生徒の理解が深まるような学習活動が設けられるなど工夫がされている。</p> <p>○紙面にある二次元コードから閲覧できるデジタルコンテンツが各学習課題に対して1つずつ用意されており、学習内容が理解しやすいよう工夫されている。</p>
教出	中学社会 地理 地域に学ぶ	<p>○地図やグラフなどの諸資料にも『THINK!』のマークを付した問いかけを設けて、常に課題意識をもって資料を読み取ることができるように留意されている。</p> <p>○ページ下部に、前出・後出箇所との関連を示す参照ページや、他分野との関連を示すことで、学習内容をより深く理解できるように構成されている。</p> <p>○教科書と出版社のウェブサイトをリンクさせる『まなびリンク』を設けることで個別最適な学びが実現できるように工夫がされている。</p>

<p>帝国</p>	<p>社会科 中学校の地理 世界の姿と日本の国土</p>	<p>○単元のまとめでは、地図や写真、思考ツールなどの様々なツールを用いて地理的な見方・考え方を働かせる工夫がされている。</p> <p>○各節で学習した内容について『未来に向けて』等の内容から、持続可能な社会の実現に向けて、自分事としてとらえていく工夫がされている。</p> <p>○ページの見開き、右下には『確認しよう』『説明しよう』が設置されており、言語活動を行い資質・能力が育成されるように工夫がされている。</p>
<p>日文</p>	<p>中学社会 地理的分野</p>	<p>○生徒の興味・関心がわくように、写真などの資料が多く掲載されており、様々な地理的事象を読み取り、地理的な見方・考え方を働かせる工夫がされている。</p> <p>○『議論してみよう』などの学習課題が設定されており持続可能な社会の実現に向け、多面的・多角的に考察し、表現する資質・能力が育成されるように工夫されている。</p> <p>○各学習課題に二次元コードが掲載されており、動画の閲覧、確認小テストなどのデジタルコンテンツを利用して個別最適な学びができるように工夫されている。</p>

社会（地理的分野）

発行者の略称	東書
書名	新しい社会 地理
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条4項「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、地球的課題を多面的・多角的に取り上げ、諸課題の解決には国際的な協力が必要であるという理解が深まるよう工夫がされている。</p> <p>○学習指導要領に示された「地理的な見方・考え方」に関連して、巻頭に『地理を学ぶ5つミカタ』を設けて、地理学習に重要な視点の例を丁寧に示す配慮がされている。</p>
内容と構成	<p>○地理の学習に必要な技能を定着させるためのコーナーとして『スキルアップ』が設けられ、一人一人の資質・能力を育てる工夫がされている。</p> <p>○見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す導入資料を掲載し、えんぴつマークの活動コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるよう配慮がされている。</p> <p>○各章のまとめのページでは単元を貫く課題が記載されており、課題に対して生徒の理解が深まるような学習活動が設けられるなど工夫がされている。</p> <p>○紙面にある二次元コードから閲覧できるデジタルコンテンツが各学習課題に対して1つずつ用意されており、学習内容が理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>○導入部分では、各地域の自然環境の特色が分かりやすい写真を掲載する工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○幅広の判型（A B判）を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意されている。</p> <p>○章ごとに配色を変更することで、生徒がどの内容を学習しているのか確認しやすいよう工夫がされている。</p> <p>○小学校の学習から中学校の学習に円滑に接続できるよう、各章の導入部に写真が配置されている。</p>

社会（地理的分野）

発行者の略称	教出
書名	中学社会 地理 地域に学ぶ
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1項「幅広い知識と教養を身に付けること」に関連して、折り込み資料として、衛星映像をはじめ、オリンピックやジオパーク、世界遺産など教科書各所で効果的に活用できる写真が掲載されている。</p> <p>○学習指導要領に示された地理的分野の目標「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせる」を達成するため、各章の最初のページに『見方・考え方ははたらかそう』を設ける工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○地図やグラフなどの諸資料にも『THINK!』のマークを付した問いかけを設けて、常に課題意識をもって資料を読み取ることができるように留意されている。</p> <p>○ページ下部に、前出・後出箇所との関連を示す参照ページや他分野との関連を示すことで、学習内容をより深く理解できるように構成されている。</p> <p>○章や節の末尾に、『学習のまとめと表現』のページを設け、知識の整理ができるよう工夫がされている。</p> <p>○教科書と出版社のウェブサイトをつなぐ『まなびリンク』を設けることで個別最適な学びが実現できるように工夫がされている。</p> <p>○単元の導入部分には生徒の興味・関心が高まるような写真や図版などの資料をわかりやすく提示する工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりになっている。</p> <p>○第1編直前に設けられた『地理にアプローチ』では、小学校で学習した地図やグラフに関する基礎的な学習を振り返る作業を位置づけ、中学第1学年へのスムーズな接続が図れるように工夫がされている。</p> <p>○地名や人名などの固有名詞や社会科特有の用語には見開きごとにふりがながつけられ、つまずきが軽減されるよう配慮がされている。</p>

社会（地理的分野）

発行者の略称	帝国
書名	社会科 中学校の地理 世界の姿と日本の国土
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法の第2条3項に関して、現代社会が直面する課題の解決に向けて構想する『アクティブ地理AL』などによる活動場面が4か所あり、社会参画に向けた態度と資質を育成する工夫がされている。</p> <p>○学習指導要領に記された「何のために学ぶのか」という各教科を学ぶ意義が巻頭『地理的分野を学ぶ意義』に記されており、地理的分野の学習の全体像をつかむことができ、見通しが立てられるような配慮がされている。</p>
内容と構成	<p>○単元のまとめでは、地図や写真、思考ツールなどの様々なツールを用いて地理的な見方・考え方を働かせる工夫がされている。</p> <p>○各節で学習した内容について『未来に向けて』等の内容から、持続可能な社会の実現に向けて、自分事としてとらえていく工夫がされている。</p> <p>○各節に二次元コードがあり、関連するコンテンツにつながるように工夫されている。</p> <p>○地図やグラフから共通点や変化を読み取る活動が『やってみよう』に設定されており情報活用能力が育成されるよう工夫されている。</p> <p>○ページの見開き、右下には『確認しよう』『説明しよう』が設置されており、言語活動を行い資質・能力が育成されるように工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○ユニバーサルデザインフォントが採用されており、見やすい工夫がされている。</p> <p>○視覚的効果が高いA B判が採用されていて、見開きで見やすく配慮されている。</p> <p>○見開きページのデザインは生徒が見やすいように、統一されたデザインと配慮されている。</p>

社会（地理的分野）

発行者の略称	日文
書名	中学社会 地理的分野
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1項に関連して、巻頭『地理的な見方・考え方って？』では、地理的な見方・考え方についてイラストと問いを用いながら解説されており、地理の学習の手立てが身に付くように配慮がされている。</p> <p>○学習指導要領に関連して、単元の冒頭で学習の流れが記載されており「主体的・対話的で深い学び」につながるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○「主体的・対話的で深い学び」について、巻頭に単元の学習内容を見通す3つのステップが、『問いを立て、学習を見通す』『問いを追究する』『まとめ、ふり返る』に記載されている。</p> <p>○各章のはじめに『小学校で学習した内容』で既習事項が記載されており、小・中学校間の円滑な接続ができるように工夫されている。</p> <p>○生徒の興味・関心がわくように、写真などの資料が多く掲載されており、州・地方の様々な地理的事象を読み取り、地理的な見方・考え方を働かせる工夫がされている。</p> <p>○『議論してみよう』などの学習課題が設定されており持続可能な社会の実現に向け、多面的・多角的に考察し、表現する資質・能力が育成されるように工夫されている。</p> <p>○各学習課題に二次元コードが掲載されており、動画の閲覧、確認小テストなどのデジタルコンテンツを利用して個別最適な学びができるように工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○多くの人に見やすい、カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。</p> <p>○見開きで単元が構造化されているので生徒が使いやすいものになっている。</p> <p>○植物油インクを使用し、化学物質過敏症の原因物質は使用されていない。</p>

社会（歴史的分野）

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新しい社会歴史	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領第2章に示されている「社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力」に関連して、単元を貫く問い、各見開きの『学習課題』と『チェック&トライ』を通して、課題解決的な学習ができるように工夫がされている。 ○各章の終結部には、ウェビング、ステップチャートといった多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する『まとめの活動』が設けられ、思考を整理できるように工夫がされている。
教出	中学社会歴史未来をひらく	<ul style="list-style-type: none"> ○特設ページには、地理・公民との関連を示す『関連マーク』が付されており、カリキュラム・マネジメントを実現し、学習内容を多面的・多角的に捉えなおすことができるように工夫されている。 ○『歴史にアプローチ』のページでは、小学校での学習をふまえて、歴史学習の進め方や歴史的な見方・考え方を確認し、生徒が視点や方法を意識しながら学習するための工夫がされている。
帝国	社会科中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	<ul style="list-style-type: none"> ○各章に『タイムトラベル』という各時代の特色を詰め込んだイラストとそれに関連する課題が設定されており、見通しを持ったり他者と合わせて見方・考え方を働かせながら特色を考えたり、様々な観点で活用することができるよう工夫されている。 ○『アクティブ歴史』では、課題解決学習が設定されており、対話を通して課題に粘り強く向き合う姿勢や、他者との意見交換を通して合意形成を目指す態度を身に付けられるよう工夫されている。
山川	中学歴史 日本と世界 改訂版	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の冒頭に世界と日本の年表を上下に分けて示し、関連する資料が掲載され、日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に各時代の特色を踏まえて理解できるよう工夫されている。 ○高等学校との接続への配慮として、高等学校の教科書の文体に慣れるため、「です・ます」調ではなく「である」調の表記になっており、日本史と世界史で基本的な色彩が分けられている。
日文	中学社会歴史的分野	<ul style="list-style-type: none"> ○導入部において、『歴史的な見方・考え方とは?』というページを設け、各単元の導入ページでは前後の時代と比較したり、その推移を読み取ったりすることができる資料を掲載し考えさせることで、歴史的な見方・考え方を働かせた学習をする工夫がされている。 ○教科書のほぼ全ての見開きページに二次元コードが記載されており、『ポートフォリオ』『イントロダクションムービー』『確認小テスト』などデジタルコンテンツが充実している。

自由社	新しい歴史教科書	<p>○各章の章末には『調べ学習のページ』が設定され、学習内容に関連する課題に対して、生徒が自ら感じた疑問を起点として探究し、学びを深めることができるように工夫されている。</p> <p>○『外の目から見た日本』や『時代の特徴を考えるページ』では、歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に多面的・多角的な視点で捉え、理解する力を育む内容で構成されている。</p>
育鵬社	新しい日本の歴史	<p>○各章の始めに、その章で学習する時代の大きな流れを捉える『鳥の目』や、その時代を象徴する資料を取り上げる『虫の目』が設定され、章ごとの学習がスムーズに進むように工夫されている。</p> <p>○『確認』『探究』『見方・考え方』『資料活用』『TRY!』といった問題解決型のページが準備されており、「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習ができるように工夫されている。</p>
学び舎	ともに学ぶ人間の歴史	<p>○教育基本法第2条1項に示されている「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める」ことに関連して、各章の最後に『歴史を体験する』項目が設けられ、体験活動を通して、当時の歴史的事象に思いを馳せることで、生徒自らが興味・関心をもって学びに向かう力を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>○世界に関する記述を充実させることで、共存や連帯の意識を生み出し、自国を主体的に認識する姿勢を培うことができるよう工夫されている。</p>
令書	国史教科書第7版	<p>○基本的内容に加えて、少数説も記載し、豊富な情報量で、歴史の真理を追い求めることができるよう工夫がされている。また、従来の歴史区分に加えて、天皇の皇位継承図の掲載により、歴史の連続性を実感できるように工夫されている。</p> <p>○判型をA5判とし、持ち運びやすくすることで、生徒が気軽に内容を確認し、学びを深める工夫がなされている。</p>

社会（歴史的分野）

発行者の略称	東書
書名	新しい社会 歴史
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条2項に示されている「自主及び自律の精神を養う」に関連して、多様な資料の読み取りや、調査・分析の手法等の技能を身に付け、社会的事象を読み解く能力を伸ばす『スキル・アップ』のコーナーが設けられている。</p> <p>○学習指導要領第2章に示されている「社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力」に関連して、単元を貫く問い、各見開きの『学習課題』と『チェック&トライ』を通して、課題解決的な学習ができるように工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○各時代の学習を、学習に興味・関心をもたせる為の導入部、学習を進める為の展開、学習をまとめる為の終結部の形で構造化し学習の流れを捉えやすくしている。</p> <p>○小集団での参加型学習である『みんなでチャレンジ』によって、学習内容の理解を図り、話し合いなどの対話的な活動を通して深い学びに繋がるような工夫がされている。</p> <p>○分野をまたがる資料を扱い、見方・考え方を働かせるマークを設け他の分野との関連が確認できるよう配慮されている。</p> <p>○各章の終結部には、ウェビング、ステップチャートといった多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する『まとめの活動』が設けられ、思考を整理できるように工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○文章は敬体が使用され、本文は平易で具体的な表現で記述されている。また、グラフや地図は凡例を使用せず図中に直接示し、読み取りづらい破線や点線を極力使用しないよう配慮されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用され、不要な凹凸や飾りをなくしたフラットデザインを取り入れることで、誰にとっても読みやすい工夫がされている。</p>

社会（歴史的分野）

発行者の略称	教出
書名	中学社会 歴史 未来をひらく
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条3項に示されている「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ことに関連して、『歴史学習の終わりに』のコラムでは、学習内容を新たな視点で捉え、現在と未来につなげる工夫がされており、主権者として、ともに生きる力を育むことができるよう工夫されている。</p> <p>○教育基本法第2条2項に示されている「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」ことに関連して、本時ページの『確認・表現』や各章末の『学習のまとめと表現』において、学習内容を自分の言葉で説明し、対話を通して深い学びへと繋げるような活動が効果的に取り入れられている。</p>
内容と構成	<p>○各章ごとに設定された「問い」を軸に、見通しと振り返りの学習場面を充実させることで、主体的・対話的で深い学びを実現しやすく構成されている。</p> <p>○特設ページには、地理・公民との関連を示す『関連マーク』が付されており、カリキュラム・マネジメントを実現し、学習内容を多面的・多角的に捉えなおすことができるように工夫されている。</p> <p>○『歴史にアプローチ』のページでは、小学校での学習をふまえて、歴史学習の進め方や歴史的な見方・考え方を確認し、生徒が視点や方法を意識しながら学習するための工夫がされている。</p> <p>○歴史の大きな流れを大観し、現代との時間的な距離を捉えることができる『歴史年表』や、復習・自主学習に活用できる『まなびリンク』など個別最適な学びを支援するための工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○固有名詞や社会特有の用語にはふりがながふられ、誰もが見やすいユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。</p> <p>○学習効果が高まるような資料が豊富に掲載され、本文と資料の関連性を明確にするために資料番号が挿入されている。</p>

社会（歴史的分野）

発行者の略称	帝国
書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1項の「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う」ことに関連して、各ページに学習のふりかえりとして『確認しよう』『説明しよう』が設けられ、より深く学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>○教育基本法第2条2項の「創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」に関連して、多くの資料を掲載することで多面的・多角的に物事を捉え、多様な立場や異なる見方を学ぶことができるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○各ページに学習範囲に関連する資料を多数掲載し、また年代を示した図式をページの隅に示すなど、学習範囲の出来事を視覚的に捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○各章に『タイムトラベル』という各時代の特色を詰め込んだイラストとそれに関連する課題が設定されており、見通しを持ったり他者と合わせて見方・考え方を働かせながら特色を考えたり、様々な観点で活用することができるよう工夫されている。</p> <p>○各章末には、『学習を振り返ろう』という学習を深めるためのページが充実し、歴史の理解を深めるための工夫がされている。</p> <p>○『アクティブ歴史』では、課題解決学習が設定されており、対話を通して課題に粘り強く向き合う姿勢や、他者との意見交換を通して合意形成を目指す態度を身に付けられるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○配色やフォントなどはユニバーサルデザインを考慮し、地図やイラストは大判で掲載され、誰にとっても見やすい工夫がされている。</p> <p>○強度があり、重量の軽い紙や製本が用いられており、3年間の使用に耐え、持ち運びや机の上を開いたままで置ける等の利便性に対する工夫がされている。</p>

社会（歴史的分野）

発行者の略称	山川
書名	中学歴史 日本と世界 改訂版
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1項に示された「豊かな情操と道徳心」に関連して、各時代の人々の生活や、人々の社会との関わりなどを示すことで、当時の人々の考え方を知り、世の中の様子を多面的・多角的に捉えることができるよう工夫されている。</p> <p>○教育基本法第2条2項に示された「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神養う」に関連して『歴史を考えよう』や『地域からのアプローチ』のページをはじめ課題や発問を置くことで、生徒一人一人が課題を追究できるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○導入から発展に至る展開の中で、さまざまなパターンの豊富かつ多様な種類の発問を設け、生徒自身による主体的・対話的で深い学びを促し、考える力を養えるように工夫されている。</p> <p>○各章の冒頭に世界と日本の年表を上下に分けて示し、関連する資料が掲載され、日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に各時代の特色を踏まえて理解できるよう工夫されている。</p> <p>○『歴史へのアプローチ』では、時代を通した視点・グローバルな視点でみたテーマや、ポイントをしばってクローズアップしたテーマなどで、多角的・多面的に考察する力を養い、歴史の理解を深めることができる工夫がされている。</p> <p>○各ページに『コラム』や『用語解説』が配置され、学習内容の理解の一助となる工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○高等学校との接続への配慮として、高等学校の教科書の文体に慣れるため、「です・ます」調ではなく「である」調の表記になっており、日本史と世界史で基本的な色彩が分けられている。</p> <p>○フォント、地図・グラフなどはユニバーサルデザインにも配慮し、読み取りやすい表記になっている。</p>

社会（歴史的分野）

発行者の略称	日文
書名	中学社会 歴史的分野
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1項に示されている「幅広い知識と教養を身に付け」に関連して、各編の初めに、4ページにわたり、大きなイラストや写真で学習内容を示し、生徒が興味をもって学習に取り組むことができるように導入が工夫されている。</p> <p>○学習指導要領第2章に示されている「課題を設けて追究したり、意見交換したりするなどの学習を重視して思考力、判断力、表現力等を養う」ことに関連して、歴史的な見方・考え方を示すコーナーや思考力、判断力、表現力等の向上を図るコーナーを設けることで生徒が意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○導入部において、『歴史的な見方・考え方とは?』というページを設け、各単元の導入ページでは前後の時代と比較したり、その推移を読み取ったりすることができる資料を掲載し考えさせることで、歴史的な見方・考え方を働かせた学習をする工夫がされている。</p> <p>○教科書のほぼ全ての見開きに二次元コードが記載されており、『ポートフォリオ』『イントロダクションムービー』『確認小テスト』などデジタルコンテンツが充実している。</p> <p>○小学校での既習事項や他分野の内容を多数掲載することで相互に連携・関連させながら学習できるよう構成されている。</p> <p>○世界とのつながりの中で日本の歴史をとらえたり現代との関連を理解したりできるように教材の取り上げ方や配列が工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、重要語句を太字にして、全てふりがながふられている。また、丁寧な解説をした側注も充実しており、振り返りと広がりを意識した参照ページが随所に付されている。</p> <p>○取り扱う事象の精選を図り、軽量化されている。</p>

社会（歴史的分野）

発行者の略称	自由社
書名	中学社会 新しい歴史教科書
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1項に示されている「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う」ことに関連して、『人物クローズアップ』や『もっと知りたい』などのコラムでは、生徒に歴史の厚みと奥行きを与え、幅広い知識と教養を身に付けさせるような工夫がされている。</p> <p>○教育基本法第2条5項に示されている「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」に関連して、日本の伝統的な文化財を効果的に取り上げ、国宝・重要文化財・世界遺産にマークをつけて紹介することで理解を深められる工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○各章の章末には『調べ学習のページ』が設定され、学習内容に関連する課題に対して、生徒が自ら感じた疑問を起点として探究し、学びを深めることができるように工夫されている。</p> <p>○本時のページでは、設定された学習課題から授業が展開される問題解決的な学習の流れが重視され、『チャレンジ』で知識の整理や表現活動を行うことで、主体的・対話的で深い学びにつながる構成となっている。</p> <p>○学びを深める効果的な地図や現代社会の課題にもつながる人間の営みについて述べているコラムなど、地理・公民などの他分野との関連が図られている。</p> <p>○『外の目から見た日本』や『時代の特徴を考えるページ』では、歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、多面的・多角的な視点で捉え、理解する力を育む内容で構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○欄外の年表では、単元の学習内容が大きな歴史の流れの中でどこに位置しているかを明確に意識できるような工夫がされている。</p> <p>○本文は生徒に親しみやすい「です・ます」体になっており、写真などの資料は大きく表記され、読み取りやすい配慮がされている。</p>

社会（歴史的分野）

発行者の略称	育鵬社
書名	新しい日本の歴史
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条5項に示されている「伝統と文化を尊重しそれらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」に関連して、日本の伝統を学ぶ教材が豊富で、日本の国土と歴史に対する理解を深めるとともに、他文化への理解を育むことを意識した内容が取り扱われている。</p> <p>○学習指導要領に示された「主体的・対話的で深い学び」に関連して各章に設けられた『学習のまとめ』を通して、時代の推移や地域的な広がりにも着目しながら学習内容を振り返ることで、自己の学習状況を確認することができる工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○各章の始めに、その章で学習する時代の大きな流れを捉える『鳥の目』や、その時代を象徴する資料を取り上げる『虫の目』が設定されており、章ごとの学習がスムーズに進むように工夫されている。</p> <p>○『確認』『探究』『見方・考え方』『資料活用』『TRY!』といった問題解決型のページが準備されており、「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習ができるようになっている。</p> <p>○各学校や地域の状況に応じて、『地域の歴史を調べてみよう』『歴史ズームイン』等を活用し、多面的・多角的に見る力が養われるよう工夫されている。</p> <p>○時代を大観し表現できる『学習のまとめ』が設定されており、「主体的・対話的で深い学び」に繋がるよう工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○図版、イラスト、写真等の資料に関して実寸を併記したり、部分拡大がされているなど、生徒の興味関心を高める工夫がされている。</p> <p>○近代史においては日本の歴史と世界の歴史が時代に沿って同じページで見やすく記載されており、時代の流れが理解しやすく工夫されている。</p>

社会（歴史的分野）

発行者の略称	学び舎
書名	ともに学ぶ人間の歴史
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1項に示されている「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める」ことに関連して、各章の最後に『歴史を体験する』項目が設けられ、体験活動を通して、当時の歴史的事象に思いを馳せることで、生徒自らが興味・関心をもって学びに向かう力を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「主体的・対話的で深い学び」に関連して詳しく読み取れる大きい鮮明な図版・資料を配置し、生徒の興味関心、一人一人の発見や疑問を引き出す印象的なタイトルの工夫がなされている。</p>
内容と構成	<p>○世界史を重視し、世界と日本のつながりの中で歴史を学習できるように工夫されており、高等学校の「歴史総合」とスムーズに接続できるように構成されている。</p> <p>○日本全国の100を超える地域教材が掲載されており、各地域に焦点をあてた多面的・多角的な視点を通して、歴史の流れを読み取ることができる。</p> <p>○本文には、歴史の舞台に焦点をあてた『フォーカス』のコラムが掲載されており、具体的な歴史の場면을提示することで、生徒の問いを基にして、自ら真理を探究する態度を形成することができる。</p> <p>○世界に関する記述を充実させることで、共存や連帯の意識を生み出し、自国を主体的に認識する姿勢を培うことができるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○太字をなくし、文章表現や漢字の使用・ルビふりなどが想定される学習や学年に即している。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、色、線、マークなどが見やすくなるよう工夫されている。</p>

社会（歴史的分野）

発行者の略称	令書
書名	国史教科書 第7版
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条1項に示されている「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う」ことに関連して、答えではなく問いを提起することで、真実を探究する自主性を促し、一義的ではなく多角的な学びにつなげることができるよう構成されている。</p> <p>○教育基本法第2条5項に示されている「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」ことに関連して、日本の光と影の両面を学ぶことで、日本の伝統や文化に誇りを持ち、連綿と続く歴史の継承者として、現代と違うものや変わらないものを比較する力を培うことができるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○基本的内容に加えて、少数説も記載し、豊富な情報量で、歴史の真理を追い求める姿勢を育成する工夫がされている。</p> <p>○『ディスカッションしよう』では、歴史的事象を賛成・反対の立場に分かれて議論することで、社会的事象を多面的・多角的に考察する力を養う工夫がされている。</p> <p>○従来の歴史区分に加えて、天皇の皇位継承図の掲載により歴史の連続性を実感できるように工夫されている。</p> <p>○『日本美術図鑑』では、時代ごとの美術作品が掲載されており、美術科と関連した教科横断的な学習につながるよう配慮されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○判型をA5判とし、持ち運びやすくすることで、生徒が気軽に内容を確認し、学びを深める工夫がなされている。</p> <p>○地名や人名などの固有名詞や社会科特有の用語などには、ふりがなが付けられており、読解に負担がかからないような配慮がされている。</p>

社会（公民的分野）

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新しい社会 公民	<p>○学習の過程に適宜「社会的な見方・考え方」を働かせるためのコーナーを設けており、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連づけることができるよう工夫されている。</p> <p>○導入、展開、まとめの学習段階に応じて必要な資料や動画の二次元コードが用意されており、「個別最適な学び」、「協働的な学び」を支える工夫がなされている。</p>
教出	中学社会 公民 ともに生きる	<p>○技能や表現力を磨く『公民の技』や、多面的・多角的な見方が身につく『公民の窓』、資料への問いかけや活動を促す『THINK!』等、学習意欲が高まるコラム等が随所に設けられている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントが使用されており、多くの生徒が学びやすいように工夫されている。</p>
帝国	社会科 中学生 の公民 よりよい 社会を目指して	<p>○『未来に向けて よりよい社会を目指して』では持続可能な社会の実現に向けた意識を育むためにSDGsについてまとめたページが随所に掲載されている。</p> <p>○実社会に興味をもたせ、考えることができるような題材が散りばめられており、それを通して合意形成をしながら、社会的な見方・考え方を働かせることができるような工夫がされている。</p>
日文	中学社会 公民 的分野	<p>○各章の導入ページでは、漫画を用いて生徒の関心を引き出し、身近な場面から『章の問い』を立て、『問の答えを予想する』といった見通しを持った学習がしやすくなっている。</p> <p>○『アクティビティ』や『チャレンジ公民』など、見方・考え方を働かせて取り組むコーナーが効果的に組み込まれている。</p>

自由社	新しい公民教科書	<p>○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛することを意識した内容が『家族愛・愛郷心から愛国心へ』などで取り扱われている。</p> <p>○各ページに適度なスペースがあり、生徒にとって視覚的にも使いやすく、見やすいデザインで写真や図表などの資料が大きく掲載されており、資料を活用した活動に取り組みやすいレイアウトとなっている。</p>
育鵬社	新しいみんなの公民	<p>○現代の日本の特色に対して、生徒が生活目線で考え、判断し、考えを深め「他人事」ではなく「自分事」として現代社会をとらえる工夫がされている。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進をサポートする『確認』『探求』『見方・考え方』『資料活用』『TRY!』『学習を深めよう』『やってみよう』などの言語活動の充実が図られている。</p>

社会（公民的分野）

発行者の略称	東書
書名	新しい社会 公民
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項に関連して、各単元に『探究課題』などが設定されており、課題解決的な学習を通して、「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」工夫がされている。</p> <p>○学習指導要領に示された「主体的・対話的で深い学びの実現」に関連して、学習の過程に適宜「社会的な見方・考え方」を働かせるためのコーナー（『見方・考え方マーク』など）を設けており、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などに関連づけることができるよう工夫されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「教育目標」に関連して、社会参画を意識させるコラムを記載するなど、「社会とかかわる力」を養うための構成がなされている。</p>
内容と構成	<p>○各単元の探究課題を捉え、「社会的な見方・考え方」の視点から情報を収集し、まとめる流れになっており、「現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする」工夫がなされている。</p> <p>○対話的な活動ができる『みんなでチャレンジ』が設けられており、「考えたことを説明したり、議論したりする力を養う」ことにつながる工夫がなされている。</p> <p>○導入、展開、まとめの学習段階に応じて必要な資料や動画の二次元コードが用意されており、「個別最適な学び」、「協働的な学び」を支える工夫がなされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○予備単位時間を含めた標準単位時間100時間で構成されており、まとめや導入の時間も充当されており、適切な分量になっている。</p> <p>○ふりがな等の文字の濃さに変化をつけて、平易で具体的な表現で分かりやすく記述されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されており、読みやすく配慮がされている。</p>

社会（公民的分野）

発行者の略称	教出
書名	中学社会 公民 ともに生きる
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、人権・防災・環境等のテーマを取り扱う資料を掲載し、今日的課題を理解した上で、解決する方法を考察・構想できるよう配慮がなされている。</p> <p>○学習指導要領に関連して、今日的課題が反映された事象を積極的に取り上げることで、社会の諸課題を捉え、その解決に向けて協働しながら多面的・多角的に考察し、表現する学習活動を促す工夫がなされている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連して、まちづくりの事例や、多文化共生が進む今の姿を取り上げる等、社会参画の意思が養われる工夫が見られる。</p>
内容と構成	<p>○各章の導入である『学習のはじめに』と『まとめと表現』のページで、現代社会の「見方・考え方」を働かせた学びが各章の学習内容と連動してできるための配慮がなされている。</p> <p>○身につけさせたい技能や表現力を磨く『公民の技』や、多面的・多角的な見方が身につく『公民の窓』、資料への問いかけや活動を促す『THINK!』等、生徒の興味・関心が広がり、学習意欲が高まるコラム等が随所に設けられている。</p> <p>○本時の学習内容と関連を図りながら、さらに一歩進める今日的課題をテーマにした『特設ページ』が多数設定され、課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫がなされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられており、学習指導計画上でもゆとりある時数が配当されている。</p> <p>○写真・イラスト・グラフ・図解などの資料が豊富に掲載され、出典と併せて視覚的に捉えやすく配慮されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントが使用されており、より多くの生徒が学びやすいように、レイアウトや配色、書体などの表現が工夫されている。</p>

社会（公民的分野）

発行者の略称	帝国
書名	社会 中学生の公民 よりよい社会を目指して
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、社会的事象を多面的、多角的に考察する態度を養うことで、幅広い知識と教養を身につけることを意図した内容が取り扱われている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「グローバル化する国際社会に自主的に生きる」に関連して、『未来に向けて よりよい社会を目指して』では持続可能な社会の実現に向けた意識を育むためにSDGsについてまとめたページが随所に掲載されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるような『アクティブ公民』が随所に掲載されている。</p>
内容と構成	<p>○生徒が主体的・対話的で深い学びが実現できる工夫がされており、情報活用能力や「思考・判断・表現等」を育むことができる構成となっている。また、見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援されている。</p> <p>○単元最初の『学習の前に』より、実社会に興味をもたせ、考えることができるような題材が散りばめられており、それを通して合意形成をしながら、社会的な見方・考え方を働かせることができるような工夫がされている。</p> <p>○個別最適な学びを支援するデジタルコンテンツが随所にあり、生徒が自主的に活用できるように配慮されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○理解しやすい本文と豊富な具体事例、ビジュアル資料、大判イラストにより、生徒が読みやすく扱いやすい表記・表現となっている。</p> <p>○実社会に興味をもたせる本文・イラスト・資料が各所に設けられており、生徒の主体的な学習のサポートができるような工夫がされている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されており、生徒の誤読を防ぎ、読みやすくなるような配慮がされている。</p>

社会（公民的分野）

発行者の略称	日文
書名	中学社会 公民的分野
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連し、人権・環境・平和といった普遍的な価値を基礎に、現代社会の諸問題に対しての公正や個人の尊重といった見方・考え方を用いて判断できる資料として工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関連し、構造的に『章の問い』や『節の問い』を設定し、その回答を行うコーナーやページを設け、生徒が何をどのように学ぶのかの見通しをもって取り組めるように工夫されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている教育目標の「たくましく生きる力」に関連して、数年後には成年として選挙権を持つことを見据え、自らの人生を主体的に切り開く力を身に付けられるよう、『多面的・多角的に考察、構想する教材』や『社会参画を促す教材』、『自ら課題を設定する課題研究学習』など教科書を通して幅広く扱われている。</p>
内容と構成	<p>○各章の導入ページでは、漫画を用いて生徒の関心を引き出し、身近な場面から『章の問い』を立て、『問の答えを予想する』といった見通しをもった学習がしやすいように構成されている。</p> <p>○原則1時間を見開き2ページで完結し、『学習課題』『見方・考え方』が明確に示され、右ページの側注欄には『確認』『表現』コーナーを設け、『章・節の問い』の手掛かりとなる工夫がある。最後にまとめのページで『章の問い』に迫るよう構成されている。</p> <p>○『アクティビティ』や『チャレンジ公民』など、見方・考え方を働かせて取り組むコーナーが効果的に組み込まれている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○写真やイラストの印刷が鮮明で読み取りやすい。</p> <p>○製本は、大きく開き閉じにくく使いやすいよう配慮されている。また、良質な紙を使用し、強度のあるつくりとして工夫されている。</p> <p>○文字はユニバーサルデザインのフォントやカラー、単元がインデックスで分けられており、学習しやすいように工夫されている。</p>

社会（公民的分野）

発行者の略称	自由社
書名	新しい公民教科書
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛することを意識した内容が『家族愛・愛郷心から愛国心へ』などで取り扱われている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「自国を愛し、その平和と繁栄を図ること」に関連して、生徒の教育活動を促し、深い学びができるような配慮が『国旗と国歌』や『海をめぐる国益の衝突』の学習などでなされている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「教育目標」に関連して、『アクティブに深めよう』で他者との合意形成をしながら、課題解決に取り組むなど、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てることができるような工夫がなされている。</p>
内容と構成	<p>○『アクティブに深めよう』では、話し合い活動が活発に行えるような工夫がなされており、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるような構成となっている。</p> <p>○『もっと知りたい』では、『権利の平等に関する問題』などの学習内容が生徒にとってわかりやすく、理解が深まる内容構成となっている。</p> <p>○各章の終わりにある『学習のまとめと発展』では、最重要語句をまとめて記載しており、学習内容を振り返ることができる配慮がされている。また、『学習の発展』では、単元で学んだ情報を活用できるような工夫がなされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度にまとめられており、各単元が系統的・発展的に配列されている。</p> <p>○各ページに適度なスペースがあり、生徒にとって視覚的にも使いやすく、見やすいデザインとなっている。</p> <p>○写真や図表などの資料が大きく掲載されており、資料を活用した活動に取り組むやすいレイアウトとなっている。</p>

社会（公民的分野）

発行者の略称	育鵬社
書名	新しいみんなの公民
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するために、「つかむ」「調べる」「まとめる」ための資料が配置され、問題解決できる課題設定がされている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」に関連して、学習段階に応じた多様な言語活動を掲載し、習得した知識・技能を活用して考えたり、判断したり、表現する力をはぐくもうとしている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている教育目標の「社会とかかわる力」に関連して、現代の日本の特色（課題等）に対して、生徒が生活目線で考え、判断し、考えを深め「他人事」ではなく「自分事」として現代社会をとらえられる工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○教科書内に、地理的分野、歴史的分野で学習した関連内容を示し、3分野の関連性を高める工夫がなされている。</p> <p>○学習の流れの構成として、各章の導入に『入り口』『これから』を設け、各章末には『学習のまとめ』を設けることで学びに向かう力や人間性を養う工夫がされている。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進をサポートする、『確認』『探求』『見方・考え方』『資料活用』『TRY!』『学習を深めよう』『やってみよう』などの言語活動の充実が図られている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○図版は色覚特性を踏まえた、判別しやすいものになっており、ふりがなにはゴシック体を用い、読みやすくなっている。</p> <p>○造本は、長期の使用に耐えられるよう丈夫な製本になっており、質の高い再生紙や、植物性インキを用いた環境にも配慮されたものになっている。</p> <p>○生徒が理解しやすいよう、平易な言葉で制度や仕組み等を説明し、難解な用語等には補足をつけたり、イラストを用いたりしている。</p>

社会（地図）

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新しい社会 地図	<p>○各地域のページに『二次元コード』が掲載されているため、生徒が主体的に学べるように工夫されている。また、資料図が詳細に記されており、生徒が読み取りやすい構成になっている。</p> <p>○主要都市の鳥瞰図は建造物も詳細に記されていて、視覚的に捉えることができる工夫がされている。</p> <p>○SDGsや災害・防災に関する資料が豊富に掲載されていて、総合的な学習の時間などの「探究的な学び」もサポートする工夫がなされている。</p>
帝国	中学校社会科 地図	<p>○世界の各州では、自然環境や生活、文化、産業などイラストを配した鳥瞰図があり、地域的特色を視覚的に捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○『Q地図で発見』では、地図の読み取りなどの地理的スキルだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習にも活用できるよう工夫されている。</p> <p>○日本の一般図では、各地方の伝統や文化に関する地図や写真が掲載されており、伝統や文化の理解や継承と発展について考察できるように工夫されている。</p>

社会（地図）

発行者の略称	東書
書名	新しい社会 地図
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条5項に示されている「我が国と郷土を愛する」に関連して、祭りや伝統工芸品、文化的特徴がある街並みなど、我が国の伝統文化の資料を掲載し、豊かな伝統・文化を理解し、尊重する資質や能力を養えるように工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に示されている、生きて働く「知識・技能」の確実な習得に関連して、世界の各州・日本の地方には、地域の概観に役立つ自然・産業・人口などの主要図を共通して掲載されているので、基礎的・基本的な知識を習得できる。</p>
内容と構成	<p>○『この地図帳の活用方法』で丁寧な解説があるため、生徒が主体的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>○各地域のページに『二次元コード』が掲載されているため、生徒が主体的に学べるように工夫されている。また、資料図が詳細に記されており、生徒が読み取りやすい構成になっている。</p> <p>○主要都市の鳥瞰図は建造物も詳細に記されていて、視覚的に捉えることができる工夫がされている。</p> <p>○SDGsや災害・防災に関する資料が豊富に掲載されていて、総合的な学習の時間などでの「探究的な学び」もサポートする工夫がなされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○A B判からA 4判に大判化され、上下幅が4 cm拡大したことで、広い範囲を一目で確認できるように構成されている。</p> <p>○不要な凹凸や飾りを無くした「フラットデザイン」を採用しているため、学習内容に集中できるよう工夫されている。また、糸かがりとじで製本しているため、堅牢で長時間の使用に耐えられる工夫がされている。</p> <p>○文字も視認性が高く、地名の漢字にはふり仮名がふられ、「ユニバーサルデザイン」に配慮した見やすい表記になっている。</p>

社会（地図）

発行者の略称	帝国
書名	中学校社会科地図
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条5項に基づき、多面的・多角的に世界を見る視点や日本の領土、伝統や文化などについて理解することができる題材が配列されている。</p> <p>○学習指導要領第2章に関連し、地図帳を活用することで、生徒が主体的に学び、資料活用能力が高まるなど粘り強く学習に取り組むことができるよう配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○世界の各州では、自然環境や生活、文化、産業などイラストを配した鳥瞰図があり、地域的特色を視覚的に捉えられるように工夫されている。</p> <p>○『Q地図で発見』では、地図の読み取りなどの地理的技能だけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習にも活用できるよう工夫されている。また、言語能力の育成について、学習内容をもとに確認し合う学習活動が設定されている。</p> <p>○日本の一般図では、各地方の伝統や文化に関する地図や写真が掲載されており、伝統や文化の理解や継承と発展について考察できるように工夫されている。</p> <p>○領土、領海、領空、接続水域などについての模式図が掲載されており、教科書と併用することでより理解が深まるよう、配慮されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されており、特別支援教育などへ配慮されている。</p> <p>○丈夫な装丁となっており、3年間の使用に十分耐えられるように工夫されている。また、生徒の身体への負担にも配慮が見られ、比較的軽い装丁となっている。</p> <p>○タイトルやページ番号、インデックスの位置が固定されており、必要な資料を探しやすいように配慮されている。</p>

数学

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	<p>○問いの中にSDGsに関する題材を取り上げたり、『数学×仕事』のコーナーで仕事の中で数学を活用している人を紹介したりするなど、かながわ教育ビジョン「社会とかかわる力」を踏まえた教材配置となるように工夫がなされている。</p> <p>○確実に身に付けたい基礎的・基本的な問題と、やや難易度の高い問題が『▽』『☆』のマークで明確にしたうえで用意されており、個に応じた学習ができるように工夫されている。</p>
大日本	数学の世界	<p>○『考えよう』という既習学習内容との関連を重視した課題が設定されており、生徒の既存の知識を生かして問題に取り組みさせるような工夫がなされている。また教科横断的な学習として、社会と関連した『海外に住む友だちと交流しよう』や理科と関連した『マグニチュードと地震のエネルギー』などが掲載されている。</p> <p>○毎章に問題発見・問題解決の流れの4つのステップで課題が構成されており、学習の取り組み方がわかりやすく表記されている。</p>
学図	中学校 数学	<p>○かながわ教育ビジョン「社会にかかわる力」に関連して、章末の『活用』や『深めよう』、巻末での『さらなる数学へ』では、日常生活に生かせるものやSDGsに関連した内容を扱うことで、数学と社会とのつながりを実感できるよう工夫がなされている。</p> <p>○課題に対して、『Question』『目標』で明確に課題を設定し、『どんなことがわかったかな』で知識の定着の確認、『次の課題へ！』で学習内容が深まるような一連の流れで構成されている。</p>
教出	中学数学	<p>○学習指導要領で示されている「学びに向かう力・人間性等」の育成に向けて、数学の有用性が感じられるよう、実社会や生活などに関する話題を取り上げた章の導入ページや、数学が実社会で役立っていることを示している『数学しごと人』などが設けられている。</p> <p>○「既習事項を根拠にして考える」「いろいろな事項と関連付けて考える」「いろいろな視点で考える」「いろいろな表現方法で考える」など算数から数学への広がりについて示しながら、数学的な見方・考え方を踏まえた教材配置となっている。</p>

啓林館	未来へひろがる 数学	<p>○学習指導要領に示された「思考力・判断力・表現力等」に関連して、『説明しよう』『話し合おう』『まとめよう』では、自分の考えを整理して伝えたり、他者の考えと自分の考えを比較したりしながら学習が進められるように工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツに補充問題や解説動画が用意されていて、家庭など学校外での学習活動においても考え方や答えを確認しながら自学自習に取り組めるよう工夫がされている。</p>
数研	これからの数学	<p>○各章の『TRY』では、生徒同士や先生の対話する場面が掲載されており、生徒のつまずきやすい箇所に気づかせる工夫がなされている。複数の考え方が提示されており、様々な視点で課題をとらえることで、生徒が問題を解く手がかりを多角的に示している。</p> <p>○第2、3学年では問いの文末表現を「～しなさい」としているのに対し、第1学年では「～しましょう」と表現されている。小学校から中学校への発達段階に応じた表現としての配慮がなされている。</p>
日文	中学 数学	<p>○生徒の興味を引くような写真やイラストが多く使われていたり、身近なことがらを数学の問題として解いていく過程が丁寧に掲載されたりするなど、学習指導要領に示された「数学的活動の楽しさ・よさ」が実感できるような工夫がされている。</p> <p>○『次の章を学ぶ前に』という単元を設けていたり、導入の問題では『Q』、『確かめ』を設けていたりするなど、既習事項を確かめ、学び直しができる内容が散りばめられていて小中の連携を重視した構成になっている。</p>

数学

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○巻頭の『数学のマイノート』では、自分の考えだけでなく、他者の考え、問題解決の過程での気づきや振り返りの書き方を示し、学習指導要領に示された、「思考力・判断力・表現力等」の育成について工夫がされている。</p> <p>○問いの中にSDGsに関する題材を取り上げたり、『数学×仕事』のコーナーで仕事の中で数学を活用している人を紹介したりするなど、かながわ教育ビジョン「社会とかかわる力」を踏まえた教材配置となるよう工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○章のタイトルにおいて、章を通して身に付けたい資質・能力を明確化し、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫がされている。</p> <p>○確実に身に付けたい基礎的・基本的な問題とやや難易度の高い問題が『♡』『☆』のマークで明確化したうえで用意されており、個に応じた学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○『深い学び』のページでは「主体的な学び」を促すとともに、多様な考えを説明し伝え合い、統合的に考える場面を設定することで、発展的に考えることができるよう構成されている。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用によって、立体や関数のシミュレーションをしたり、既習内容を繰り返し学習したりできるよう工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○ユニバーサルデザインの視点から、文節など言葉の切れ目で改行したり、色数を絞ったシンプルなデザインにしたりすることで見やすく読みやすい文章として構成されている。</p> <p>○節の最後に『基本の問題』、章の最後に『章の問題A、B』が構成されており、適切な問題量として工夫されている。</p>

数学

発行者の略称	大日本
書名	数学の世界
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に示されている「幅広い知識と教養」に関連して数学における基礎・基本を身につけるとともに、単元の終わりにある『活用・研究』では身近にある現象を数学的な視点から考える活動など、日常と数学との関わりが幅広く示されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「主体的・対話的で深い学びの実現」に関連して、学習を進める4つのステップが示されているとともに、他者と対話的に学習を深める工夫がなされている。</p>
内容と構成	<p>○「めあて」が毎時間わかりやすく表記されており、生徒が目標を把握し、目的意識を持って授業に取り組める工夫がなされている。</p> <p>○『考えよう』という既習学習内容との関連を重視した課題が設定されており、生徒の既存の知識を生かして問題に取り組ませるような工夫がなされている。また、教科横断的な学習として、社会と関連した『海外に住む友だちと交流しよう』や、理科と関連した『マグニチュードと地震のエネルギー』などが掲載されている。</p> <p>○毎章に問題発見・問題解決の流れの4つのステップで課題が構成されており、学習の取り組み方がわかりやすく表記されている。</p> <p>○数学的な思考力・判断力・表現力を育ませる工夫として、式、表、グラフを利用して調べたり、説明したりする課題が多く設定されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○分量は、『Q』の練習問題とともに、『プラス・ワン』や巻末の『補充問題』など、適切な量が示されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した4色が使用されているとともに、学習のめあてや重要事項などがはっきりと強調されている。</p>

数学

発行者の略称	学図
書名	中学校 数学
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領に示されている「思考力・判断力・表現力等」に関連して、『説明する力をつけよう』では、課題解決への過程が示されており、見通しを立てやすい配慮がされている。</p> <p>○かながわ教育ビジョン「社会にかかわる力」に関連して、章末の『活用』や『深めよう』、巻末の『さらなる数学へ』では、日常生活に生かせるものやSDGsに関連した内容を扱うことで、数学と社会とのつながりを実感できるよう工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○課題に対して、『Question』『目標』で明確に課題を設定し、『どんなことがわかったかな』で知識の定着の確認、『次の課題へ！』で学習内容が深まるような一連の流れで構成されている。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、巻末の『さらなる数学へ』では、実際の生活での問題に対して既習事項を基に理解を深め、かつ協働的に学べるような工夫がされている。</p> <p>○各課題に対する疑問点が挙げられていて、数学的な表現を用いて論理的に考察できるよう工夫されており、『見方・考え方』では、疑問点について考えることができるよう配慮されている。</p> <p>○章ごとの『できるようになったこと』では、既習内容を確認し、『確かめよう』で実際に問題を解くことにより、生徒自身が自分の学びを振り返られる工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○数と式の領域においては、『計算力を高めよう』が設定しており、十分な練習をすることができる。また、各章の練習問題や章末、巻末に問題が設定されていて、問題量として適切である。</p> <p>○ユニバーサルデザインの観点から文節での改行や色覚特性に配慮して、色の違いだけではなく形で判別ができるような対応がされているため、文章が読みやすい構成になっている。</p>

数学

発行者の略称	教出
書名	中学数学
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す中で、「深い学び」の鍵となる「数学的な見方・考え方」を働かせた学習内容となるよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領で示されている「学びに向かう力・人間性等」の育成に向けて、数学の有用性が感じられるよう、実社会や生活などに関する話題を取り上げた章の導入のページや数学が実社会で役立っていることを示している『数学しごと人』などが設けられている。</p>
内容と構成	<p>○「既習事項を根拠にして考える」「いろいろな事項と関連付けて考える」「いろいろな視点で考える」「いろいろな表現方法で考える」など算数から数学への広がりについて示しながら、数学的な見方・考え方を踏まえた教材配置となっている。</p> <p>○章のはじまりには『学習する前に』、終わりには『学習のまとめ』が設けられており、章全体を通して学習内容の確認ができるように構成されている。</p> <p>○生徒に考えさせる『はてな?』が多く散りばめられており、数学的活動の楽しさや数学のよさに触れることで、幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮されている。</p> <p>○ICTが効果的に活用できるようデジタルコンテンツ『まなびリンク』が用意されており、生徒自身が1人1台端末を使用し、必要な情報を得られるようになっている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○キャラクターや挿絵が随所に盛り込まれており、視覚的に興味・関心が高まるような工夫がされている。</p> <p>○色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮した構成となっている。</p>

数学

発行者の略称	啓林館
書名	未来へひろがる数学
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領に示されている「思考力・判断力・表現力等」に関連して、『説明しよう』『話し合おう』『まとめよう』では、自分の考えを整理して伝えたり、他者の考えと自分の考えを比較したりしながら学習が進められるように工夫されている。</p> <p>○リサイクルに関連した『紙パックから再生されるトイレットペーパー』や食品ロスに関連した『おにぎりの販売計画』など、SDGsに関連した問題を取り上げ、かながわ教育ビジョン「社会とかかわる力」を育成できるように配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、単元末に『○章のあしあと』でわかったこと、できるようになったこと、さらに学んでみたいことをまとめる場面を設定し、生徒が自らの学びの深さを確認しながら次の学びに進めるように配慮されている。</p> <p>○生徒にとって分かりやすく理解が深まるよう、基礎・基本の例や例題を配置し、それにならって解く問題を多く掲載し「知識・技能」が身に付くよう配慮されている。</p> <p>○デジタルコンテンツに補充問題や解説動画を用意し、家庭など学校外での学習活動においても、考え方や答えを確認しながら自学自習に取り組めるよう工夫がされている。</p> <p>○『ふりかえり』や巻末の『学びをふりかえろう』では、既習内容を確認できるようにし、『学びをいかそう』に高校数学と関連した発展課題を配置することで中高の円滑な接続に対応している。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○文章の改行をすべて文節で行うことで読みやすくなるよう、また、色覚の特性によらず学びやすいものになるよう工夫がされている。</p> <p>○章末問題の右側に学習したページ数を示すことで、振り返って学習ができるように配慮されている。</p>

数学

発行者の略称	数研
書名	これからの数学
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学習指導要領に示された「思考力・判断力・表現力等」に関連して章末の『学んだことを活用しよう』では、日常生活において既習事項をどう生かすかについて考えさせる問いが用意されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョン「社会にかかわる力」に関連して、全学年巻頭でSDGsについてに触れていたり、巻末の『数学旅行』ではSDGsのどの項目と関わるかを示していたりしており、社会と数学がどのように関わるか、生徒がイメージしやすくなるような工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○各章の『TRY』では、生徒同士や先生の対話する場面が掲載されており、生徒のつまずきやすい箇所に気づかせる工夫がなされている。複数の考え方が提示されており、様々な視点で課題をとらえることで、生徒が問題を解く手がかりを多角的に示している。</p> <p>○各章の学習に入る前に関連する既習内容を掲載することで、生徒に既習内容と単元で学習する内容の関連を意識させる工夫がなされている。</p> <p>○二次元コードを活用することで、個々の習熟度に応じ、自主的に学習に取り組みやすい工夫が図られている。</p> <p>○『学んだことを活用しよう』では、各章で学習した内容を活用して日常の課題に取り組めるよう工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○第2、3学年では問いの文末表現を「～しなさい」としているのに対し、第1学年では「～しましょう」と表現されている。小学校から中学校への発達段階に応じた表現としての配慮がなされている。</p> <p>○解答例でノートの様式を活用して、生徒がノートにまとめたり、復習したりする際に参考にしやすいよう構成されている。</p>

数学

発行者の略称	日文
書名	中学 数学
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に示されている「自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度」を養うことに関して、巻末の『数学のマイトライ』では、SDGsや防災、福祉に関する内容を取り入れている。</p> <p>○生徒の興味を引くような写真やイラストが多く使われていたり、身近なことから数学の問題として解いていく過程が丁寧に掲載されていたりするなど、学習指導要領に示された「数学的活動の楽しさ・よさ」が実感できるような工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○各学年の巻頭『学びに向かう力を育てよう!』では、「主体的に学習に取り組む態度」がどのような態度なのかが保護者、生徒にわかりやすく提示されている。</p> <p>○新しい章に入る前に『次の章を学ぶ前に』を設けていたり、導入の問題では、『Q』、『確かめ』を設けていたりするなど、既習事項を確かめ、学び直しができる内容が散りばめられていて、小学校の学習とのつながりが意識できる構成になっている。</p> <p>○『学び合おう』や『振り返りシート』で振り返る観点が明確に提示されている。そのため、学習の過程を振り返りやすくなり、自己の変容を自覚し、学習の定着につながりやすい構成になっている。</p> <p>○教科書デジタルコンテンツでは、生徒が苦手とする文章題や、図形の問題の理解を助けるアニメーションや動画を見ることができ</p>
分量・装丁・表記等	<p>○生徒が見やすい配色やフォントになるようユニバーサルデザインを採用している。</p> <p>○各章巻末に多彩な問題がバランスよく配置され、基礎の定着や、発展的な学習に取り組むために適切な数の問題が提示されている。</p>

理科

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい科学	<p>○節内に掲載された解説付きの例題では、計算方法の詳細などが記載されており、生徒がつまづきやすい内容が理解しやすくなるような工夫がなされている。</p> <p>○実験の操作手順の動画や、作図や計算の練習問題など、生徒が主体的に幅広い内容の学習に取り組めるデジタルコンテンツが利用できる二次元コードが掲載されている。</p>
大日本	理科の世界	<p>○『Science Press』『Professional』『くらしの中の理科』では、学んだことを日常生活や文化・伝統・歴史、科学技術、環境保全などにつなげて考え、幅広い視点をもてるように工夫がなされている。</p> <p>○単元末のまとめや単元末問題で学習を振り返ることで、生徒が自分の答えと正答を照らし合わせて確認でき、主体的に学習を進められるようになっている。</p>
学図	中学校 科学	<p>○既習事項の確認及び達成すべき目標が、単元の初めに掲載されており、生徒にとって分かりやすく、理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。</p> <p>○紙面上部の二次元コードから閲覧できる『ミライ教科書』では、外国語への変換や文字の拡大縮小ができ、生徒の特性に合わせて使用できるよう工夫がなされている。</p>
教出	自然の探究 中学理科	<p>○各単元で『これまでの学習』『学習前の私』『学習後の私』の項目が設けられ、生徒が体系的な知識を身に付けられ、さらに『ハローサイエンス』等の教材により学びを深めることができるようになっている。</p> <p>○文字の大きさ、配色、二次元コードなど、様々な生徒の状況に配慮したつくりや、個別最適な学びにつながるような工夫がなされている。</p>
啓林館	未来へひろがるサイエンス	<p>○小学校からの系統性をふまえた構成として『つながる学び』の記載があり、学習のつながりを理解しやすい工夫がされている。随所に上位学年や高校理科へのつながりもわかりやすく記載されている。</p> <p>○生徒が小学校から中学校にスムーズに移行できるよう、第1学年の文字の大きさは、小学校第6学年と中学校第2・3学年の中間的な大きさに設定されている。</p>

理科

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい科学
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第2項に基づき、学習過程において、「個人の価値を尊重し」ながら学習に向かえるよう、各節の導入に主体性を高める学習が設定されている。</p> <p>○学習指導要領に関連して、生徒が探究の過程を意識して活動できるよう、紙面に探究の過程のどの段階に位置づけられているかが表記されている。</p>
内容と構成	<p>○巻頭資料の『「探究」の流れを確認しよう』に、資質・能力を育成する学びの過程の全体像が示されており、生徒が見通しをもって探究活動に取り組むことができるように構成されている。</p> <p>○『基礎操作』として、実験器具の説明について、図や写真を豊富に用いることで生徒が視覚的に理解しやすくなっており、基礎的・基本的な技能を習得する工夫がなされている。</p> <p>○節内に掲載された解説付きの例題では、計算方法の詳細などが記載されており、生徒がつまずきやすい内容を理解しやすくなるような工夫がなされている。</p> <p>○実験の操作手順の動画や、作図や計算の練習問題など、生徒が主体的に幅広い内容の学習に取り組めるデジタルコンテンツが利用できる二次元コードが掲載されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○紙面をより大きく有効活用できるよう、判型はA B判が採用されている。</p> <p>○書体はUDフォントが使用されている。また、色覚の個人差を問わない配色、デザインがなされている。</p> <p>○目次が詳細に記載されており、生徒が振り返りなどを行う際、必要なページを開きやすい工夫がなされている。</p> <p>○生徒が学習活動の見通しをもてるよう、1見開きの指導時数の目安を1時間として構成されている。</p>

理科

発行者の略称	大日本
書名	理科の世界
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に基づき、理科の学習を通して科学的知見を養い豊かな情操と道徳心が育まれるよう、科学と日常生活や社会との関連を紹介する資料などが提示されている。</p> <p>○各単元では、学習指導要領で示された領域ごとの特徴的な見方を意識した課題設定をしており、それぞれ探究の過程で「理科の見方・考え方」を働かせながら学習を進められるようになっている。</p>
内容と構成	<p>○各章では、科学的な探究の過程が示されており、生徒が見通しをもって科学的に探究することで、主体的・対話的で深い学びができるように構成されている。</p> <p>○『Science Press』『Professional』『くらしの中の理科』で扱う話題は、学んだことを日常生活や文化・伝統・歴史、科学技術、環境保全などにつなげて考え、幅広い視点をもてるように工夫されている。</p> <p>○単元末のまとめや単元末問題で学習を振り返ることで、生徒が自分の答えと正答を照らし合わせて確認でき、主体的に学習を進められるようになっている。</p> <p>○個別最適な学び・協働的な学びに対応するためにウェブコンテンツ（器具の基本操作、様々な事象や現象の動画）が用意されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○判型はB5判が採用されており、机のスペースを確保できる。</p> <p>○書体はUDフォントが使用されている。</p> <p>○紙面のレイアウトや使用している文字、カラーユニバーサルデザインの観点で配色するなど、特別な支援を必要とする生徒に配慮されている。</p> <p>○探究の過程に沿った学習を意識的に進められるよう、マークを設けて具体例が示されている。各学年で特に重視する項目は目立つデザインで示されている。</p>

理科

発行者の略称	学図
書名	中学校 科学
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第4項に基づき「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養え」るよう、単元冒頭の写真とマークなど、さまざまな観点からSDGsを取り上げ、持続可能な社会の実現について考えられるよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に関連して生徒が観察・実験を行う「気付き」「課題の設定」「仮説」「検証計画」「観察・実験」「結果」「考察」の過程が、紙面左側に矢印で示され、わかりやすい構成になされている。</p>
内容と構成	<p>○既習事項の確認や『ふり返ろう・つなげよう』と『Can-Do-List』で達成すべき目標が、単元の初めに掲載されており、生徒にとって分かりやすく、理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。</p> <p>○巻末の補充資料が充実しており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮がなされている。</p> <p>○紙面上部の二次元コードから閲覧できる『ミライ教科書』では、外国語への変換や文字の拡大縮小ができ、生徒の特性に合わせて使用できるよう工夫されている。</p> <p>○探究の組み立て方が深まる資料『理路整然』があり、深い学びにつなげられる工夫がなされている。</p>
分量・想定・表記等	<p>○紙面をより大きく有効活用できるよう、判型はA B判が採用されている。</p> <p>○書体はUDフォントが使用されている。また、色覚の個人差を問わない配色、デザインがなされている。</p> <p>○項目ごとにページの区切り方が明確にされている。</p> <p>○教科書が大きく、広げやすい構造になされており、図版や写真が大きく掲載されていることで生徒が学習内容をイメージしやすいように作られている。</p>

理科

発行者の略称	教出
書名	自然の探究 中学理科
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項に基づき「幅広い知識と教養を身に付けることに関連して、『これまでの学習』『学習前の私』『学習後の私』などの項目によって、以前の学習内容とのつながりをわかりやすく示しており、生徒が体系的な知識を身に付けやすいよう工夫がなされている。</p> <p>○学習指導要領に基づき「科学的に探究する力」を養うことができるよう、科学的な探究の流れが統一された色で強調されており、生徒が科学的な探究の流れに沿って見通しを持った活動がしやすいよう配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○『疑問』『課題』→『実験』→『考察』『結論』という流れに沿って各単元の学習が進められるようになっていることで、探究の取り組み方が定着しやすいよう工夫されている。</p> <p>○『ハローサイエンス』『広がる科学の世界』などの教材によって、学習内容を深く理解できるように工夫されている。</p> <p>○『私のレポート』の最後に『疑問』の項目が設けられており、生徒が新たな疑問を持ちやすくなるようなレポート例になっている。</p> <p>○二次元コードがページ下部に記載されており、図版資料や要点チェックなど、個別最適な学びができるよう配慮されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○紙面をより大きく有効活用できるよう、版型はA B変型が採用されている。</p> <p>○本文の文字やルビが大きめになっており、重要用語が太字かつ色付きの文字にされている。</p> <p>○書体はUDフォントを使用しており、カラーユニバーサルデザインにも配慮がなされている。</p> <p>○巻頭の折り込みに『探究の進め方』があり、本文ページを開いた状態でも探究の進め方がわかるよう工夫されている。</p>

理科

発行者の略称	啓林館
書名	未来へひろがるサイエンス
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項「幅広い知識と教養を身に付け」に関連して、学習過程において、基礎的・基本的な知識・技能が定着するように工夫されている。また、基礎的・基本的な知識・技能を生かし『探Q実験』では様々な疑問を探究的に解決することを通して、真理を求める態度が育まれるよう配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に関連して、巻頭の『ガイダンスページ』や『学ぶ前にトライ!』では、生徒の興味・関心を高め、自然の事物・現象に進んで関わる態度の育成につながるよう配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○小学校からの系統性をふまえた構成として『つながる学び』の記載があり、学習のつながりを理解しやすい工夫がされている。随所に上位学年や高校理科へのつながりもわかりやすく記載されている。</p> <p>○日常生活や社会的状況を反映した『科学コラム』があり、身近な生活や実社会と関連した内容が多く採用されている。</p> <p>○サイエンス資料『理科でよく使う算数・数学』には、定量的に表すための計量の仕方を補助する資料が丁寧に紹介されている。</p> <p>○他教科と関連する学習内容には、その教科が表示されており、学びの広がりや深まりを感じられる工夫がされている。</p>
分量・想定・表記等	<p>○紙面をより大きく有効活用できるよう、判型はA B判が採用されている。</p> <p>○書体はUDフォントが使用されている。また、色覚の個人差を問わない配色、デザインがなされている。</p> <p>○文章が見開きページの中心に集まっており、視点移動が少なく読みやすい工夫がされている。</p> <p>○生徒が小学校から中学校にスムーズに移行できるよう、第1学年の教科書のフォントの大きさは、小学校第6学年と中学校第2・3学年の中間的な大きさに設定されている。</p>

音楽（一般）

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
教出	音楽のおくりもの	<p>○学習題材の系統表である『学習MAP』では、歌唱・鑑賞・創作の順に分野ごとに色分けして、さらに題材ごとに育成を目指す資質・能力が明確に示されており、どのように学んでいくか見通しがもてるよう工夫されている。</p> <p>○題材ごとに活動のポイントが示されており、学習の見通しがもてるよう工夫されている。</p>
教芸	中学生の音楽	<p>○鑑賞教材において標題音楽・絶対音楽・情景との結びつき・楽曲の構成について体系的に学ぶことができ、音楽そのものの理解を深めることができる。</p> <p>○日本の伝統芸能の学習を通して、雅楽や歌舞伎など伝統や文化について理解を深めることができる。また、諸民族の音楽やポピュラー音楽の学習により、文化の多様性への理解を深められるよう工夫されている。</p>

音楽（一般）

発行者の略称	教出
書名	音楽のおくりもの
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、我が国の音楽文化の理解を基盤にして、様々な音楽の多様性を理解・尊重する態度が養われるように適切に配慮されている。</p> <p>○学習指導要領により示された「思考力・判断力・表現力等の育成」に関連して、思考を促すヒントがキャラクターの吹き出しによって示され、思考の手順がわかる工夫がされている。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、ワークシートを活用して、友達との意見交流をすることで表現や鑑賞の学習を深めることができるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○二次元コードからアクセスする『まなびリンク』のデジタルコンテンツを活用することで、個別最適な学びが実現できるよう工夫されている。</p> <p>○学習題材の系統表である『学習MAP』では、歌唱・鑑賞・創作の順に分野ごとに色分けして、さらに題材ごとに育成を目指す資質・能力が明確に示されており、どのように学んでいくか見通しがもてるよう工夫されている。</p> <p>○他教科との関連を重視し、英語歌詞で歌唱できる教材を扱ったり、歴史的・地理的事象との関連を図ったりすることで、教科横断的に学習できるように配慮されている。</p> <p>○題材ごとに活動のポイントが示されており、学習の見通しがもてるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	○色覚等の特性を踏まえた判読性・視認性の高い配色やレイアウト、表記・表現方法、文字の使用など細部にわたり配慮されている。

音楽（一般）

発行者の略称	教芸
書名	中学生の音楽
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、諸民族の音楽やポピュラー音楽について掲載されているなど、多様な音楽文化についての理解を深め、生涯にわたる音楽を愛好する心情を育てられるよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「協働的な学び」の実現に向けて、合唱・鑑賞・創作の分野において他者との関わりの中で音楽への理解を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「音楽の多様性の理解」の実現に向けて、演奏表現の工夫や歌詞の解釈、多様な時代や国の音楽に触れることができるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○様々な教材において、「主体的・対話的な学び」の手立てが示されていて、『学びのコンパス』などにより、全ての領域で協働的な学びができるよう工夫されている。</p> <p>○鑑賞教材において標題音楽・絶対音楽・情景との結びつき・楽曲の構成について体系的に学ぶことができ、音楽そのものの理解を深めることができる。また、楽曲の歴史的背景や文化的背景に目を向けることで、教科横断的に学べるよう工夫されている。</p> <p>○日本の伝統芸能の学習を通して、雅楽や歌舞伎、能楽、文楽など伝統や文化について理解を深めることができる。また、諸民族の音楽やポピュラー音楽の学習により、文化の多様性への理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用により、視覚的に捉えることや、楽器の音色等に触れることができるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	○見やすい書体の使用や色覚特性への配慮によりユニバーサルデザインの工夫がされている。

音楽（器楽合奏）

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
教出	中学器楽 音楽のおくりもの	<p>○音楽（一般）教科書の鑑賞教材と関連している楽曲が多数掲載されており、より深い学びになるように構成されている。</p> <p>○ページ上部に題材や活動のポイントが配置され、音楽的な見方・考え方を働かせ、知識及び技能の習得につながるように構成されている。</p>
教芸	中学生の器楽	<p>○アルトリコーダーの学習では、運指やアンサンブルの面で段階的・発展的に学習に取り組めるよう構成が工夫されている。</p> <p>○バンドスコアの掲載や耳なじみのある曲のアンサンブル、音楽（一般）の教科書で扱われている鑑賞教材を楽器で演奏するなど、生徒の関心を高めるための工夫が施されている。</p>

音楽（器楽合奏）

発行者の略称	教出
書名	中学器楽 音楽のおくりもの
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第3項との関連において、グループ活動の中で、協働しながら学習を進められる教材が含まれている。</p> <p>○教育基本法第2条第5項との関連において、和楽器を活用した学習活動を通して、我が国の伝統的な音楽に親しみ、その良さを味わえるよう配慮されている。</p> <p>○学習指導要領との関連において、プロの演奏家のメッセージなどを通して、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自らの生活とをつなぐことができるよう配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○音楽（一般）教科書の鑑賞教材と関連している楽曲が多数掲載されており、より深い学びになるように構成されている。</p> <p>○ページ上部に題材や活動のポイントが配置され、音楽的な見方・考え方を働かせ、知識及び技能の習得につながるように構成されている。</p> <p>○楽器演奏の基本をおさえるために写真やイラストを多用し分かりやすく解説されている。</p> <p>○二次元コードからアクセスする『まなびリンク』のデジタルコンテンツを活用することで、個別最適な学びが実現できるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○色覚等の特性を踏まえた判読性・視認性の高い配色やレイアウト、表記・表現方法、文字の使用など細部にわたり配慮されている。</p> <p>○再生紙と植物油インクを使用するなど環境面にも配慮されている。</p>

音楽（器楽合奏）

発行者の略称	教芸
書名	中学生の器楽
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、アンサンブルの活動があり互いの立場を尊重しながら自分の思いを表現する力を養うことができるよう配慮されている。</p> <p>○学校教育法第2条第3項に関連して、我が国と郷土の音楽に親しみ、他国の音楽を尊重する態度を養うことができる教材が用いられている。</p> <p>○学習指導要領との関連において、『学びのコンパス』などにより、表現活動を通して思考力・判断力を育むことができるよう意図されている。</p>
内容と構成	<p>○アルトリコーダーの学習では、運指やアンサンブルの面で段階的・発展的に学習に取り組めるよう構成が工夫されている。</p> <p>○基礎的な奏法と発展的な奏法の両方について触れられており、また唱歌や口三味線も記載されており、楽譜が読めなくても練習できるよう工夫されている。</p> <p>○各楽器について、デジタルコンテンツを用いて奏法を動画で捉えられるよう工夫がされている。</p> <p>○バンドスコアの掲載や耳なじみのある曲のアンサンブル、音楽（一般）の教科書で扱われている鑑賞教材を楽器で演奏するなど、生徒の関心を高めるための工夫が施されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○ユニバーサルデザインに配慮したフォントや色覚特性に対応した視認性の高い色使いなど、工夫がなされている。</p> <p>○音符が黒光りしないインクで印刷されている。</p>

美術

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
開隆堂	美術	<p>○『扉のページ』では、各学習活動の意味や目的など、学習に向かう姿勢が考えられるよう設定されている。また、活動内容の色分けや、題材ページのタイトルにも学習活動が明確になるように工夫されている。</p> <p>○原寸大の作品紹介等、見開きで題材の世界観を凝縮した紙面構成など、細かな鑑賞活動が行える工夫がある。</p> <p>○題材紙面に適宜設けられたコラムではSDGsとともに、題材内容とかわる造形的な取り組みや作品が紹介され、美術の学習と具体的に関連付けて学習できるよう配慮されている。</p>
光村	美術	<p>○他教科とのつながりを意識した内容が取り扱われている。また、表現と鑑賞の広がりをもたせ心豊かにするため、詩や文章表現などの工夫がされている。</p> <p>○『鑑賞』『表現 発想・構想』という流れで構成されており、生徒が授業に見通しをもつための工夫がされている。</p> <p>○SDGsの目標も番号で表記され、美術との関連が分かりやすく示されている。そのため、美術の学びが持続可能な社会で果たす役割について考えられるよう配慮されている。</p>
日文	美術	<p>○冒頭のオリエンテーションでは、自分らしさを表現する大切さを伝え、美術との出会い、実感・深まり、探究へと3年間の学習で学びを深め、見通しをもつことができるよう工夫されている。</p> <p>○各単元の学びの目標のアイコン化や色分けを行うことで、すべての生徒が視覚的に情報を判断できるように工夫されている。</p> <p>○『屏風、美の仕掛け』では、実際に教科書を折り立たせることで、平面での鑑賞では難しかった実際の印象に近い屏風の鑑賞が行えるよう工夫されている。</p>

美術

発行者の略称	開隆堂
書名	美術
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に示されている「伝統と文化を尊重」に関連して生活を明るく豊かにする日本及び諸外国の美術や美術文化を多種多様に取り上げ、身近な日本の伝統文化から美術や美術文化について学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領の「学びに向かう力」に関連して、学習領域の最初には、『扉のページ』が設定されており、それぞれの学習に向かう姿勢を考えることができるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○題材ページの入り口に「自分の思いを表そう」「つくることでつながる」と題する『扉のページ』があり、各学習活動の意味や目的を考えることができるよう設定されている。また、活動内容を色分けして示し、各題材ページのタイトルにも学習活動が明確になるようにアイコンで示すなど工夫されている。</p> <p>○原寸大の作品紹介が多く、見開きでその題材の世界観を凝縮した紙面構成もあり、より細かな鑑賞活動が行えるよう工夫されている。</p> <p>○題材紙面に適宜設けられたコラムではSDGsとともに、題材内容とかかわる造形的な取り組みや作品が紹介され、美術の学習と具体的に関連付けて学習できるよう配慮されている。</p> <p>○身近な美術から社会の中の美術までを考えるページが設定されており、生徒たちの興味関心を引く内容として工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○表紙の作品と特殊加工がリンクしており、生徒の教科に対する興味を引く工夫がされている。</p> <p>○題材の最初に提示される主文が3行程度にまとめられ、一読してその内容が読み取れる文章量となっている。</p> <p>○『美術の用語』という枠で専門用語の説明があり、生徒が理解を深められるよう配慮されている。</p>

美術

発行者の略称	光村
書名	美術
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に示されている「豊かな情操と道徳心を培う」に関連し幅広い知識と教養を身につけ、他教科とのつながりを意識した内容が取り扱われている。また、表現と鑑賞の広がりをもたせ心豊かにするため、詩や文章表現などの工夫がされている。</p> <p>○学習指導要領の資質、能力の三本柱に対応し、「鑑賞」と「表現」をアイコンで分かりやすく示し、発想・構想段階では生徒が主体的に「鑑賞」と「表現」を往還できるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○『鑑賞』『表現 発想・構想』という流れで構成されており、生徒が授業に見通しをもつための工夫がなされている。</p> <p>○SDGsの目標も番号で表記され、美術との関連がわかりやすく示されている。そのため、美術の学びが持続可能な社会で果たす役割について考えられるよう配慮されている。</p> <p>○デザインの分野で、防災デザインの内容があり、実用性とデザイン性について考えることで、防災についての知識や意識を高められるよう工夫がされている。</p> <p>○『美術1資料』では必要とされる知識、技能を支える資料がまとめられている。また、思考・判断を支える発想方法もまとめられており、3年間利用できるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○日本美術の鑑賞ページでは、実際に和紙に近い質感のため、より本物に近い感覚で鑑賞できるよう工夫されている。</p> <p>○全学年を通して文字がやや小さくなる場合は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが使い分けられている。</p> <p>○鑑賞図版を大きくダイナミックに掲載し、小さい図版では気づきにくい細かい表現まで見てとることができ、生徒の興味関心を引き出す工夫がなされている。</p>

美術

発行者の略称	日文
書名	美術
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条「職業及び生活との関連を重視する」に関連し、つくることを職業としている人の活動を紹介するページなど造形と職業の関連を示す工夫がされている。学習指導要領の「対話的な学び」とも関連し、多様な考え方を促す工夫がなされている。</p> <p>○学習指導要領の知識及び技能と関連して、生徒に単元を通して着目させたい『造形的な視点』や、造形的な見方、考え方に気付かせるための問いかけが記載された『鑑賞の入り口』等の工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○冒頭のオリエンテーションでは、制作するだけでなく自分らしさを表現する大切さを伝え、美術との出会い、実感・深まり、探究へと3年間の学習で学びを深め、見通しをもつことができるよう工夫されている。</p> <p>○各単元の学びの目標のアイコン化や色分けを行うことで、すべての生徒が視覚的に情報を判断できるように工夫されている。</p> <p>○『屏風、美の仕掛け』のページでは、実際に教科書を折り立たせることで、平面での鑑賞では難しかった実際の印象に近い屏風の鑑賞が行えるよう工夫されている。</p> <p>○制作者のコラムが充実しており、職業としての美術が身近に感じられることから、キャリア教育としての配慮がみられる。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○表紙は耐水性のあるコーティングがされており、制作中も安心して活用できる工夫がされている。</p> <p>○文字が読みやすいようにユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p> <p>○教科書を三分割し、生徒の発達段階に合わせて系統性に配慮した分量とされている。</p>

保健体育

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい保健体育	<p>○教育基本法第2条第1項に示されている「幅広い知識と教養」に関連して『見つける』『学習課題』『課題の解決』『広げる』のステップが学習の流れに沿って配置されており、主体的・対話的で深い学びを通して幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮されている。</p> <p>○学習課題の共有や実感を伴った理解などを目的として、質の高い動画やシミュレーション、思考ツール、章末問題など、さまざまな学習場面で活用できるデジタルコンテンツが豊富に用意されている。</p>
大日本	中学校 保健体育	<p>○教育基本法第2条第1項に示された「幅広い知識と教養」に関連して、小單元ごとに『学習のねらい』から『活用して深めよう』までの課題解決型学習によって自ずと保健及び体育に関する知識を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○『ミニ知識』や『トピックス』など多様な資料が掲載されており、個に応じた学習を深めることができるように配慮されている。</p>
大修館	最新 中学校保健体育	<p>○教育基本法第2条第1項に示されている「幅広い知識と教養」に関連して、各章のはじめに『章とびら』、気づきや思考を促す『課題をつかむ』、能力の育成・定着を図る『学習のまとめ』を設けて、課題解決の過程を重視した内容を取り扱うように工夫されている。</p> <p>○『動画コンテンツ』『Web保体情報館』『Webワークシート』『保体クイズにトライ!』の4つのデジタルコンテンツが用意されており、ICTを活用した授業が行えるように配慮されている。</p>

学研	新・中学保健体育	<p>○教育基本法第2条第1項に示されている「幅広い知識と教養」に関連して、保健体育の学びがウェルビーイングの向上につながるように、学びを活用する問いかけや、章の冒頭で学習内容に関連した人物や事柄の紹介がされている。</p> <p>○生徒の興味・関心に応じて、より深い学びに結び付けられるよう、各章末に『探究しようよ』、各学年末に『学習の終わりに』を設定し、振り返りや今後の学習につなげられるよう工夫されている。</p>
----	----------	--

保健体育

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい保健体育
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項に示されている「幅広い知識と教養」に関連して『見つける』『学習課題』『課題の解決』『広げる』のステップが学習の流れに沿って配置されており、主体的・対話的で深い学びを通して幅広い知識と教養を身に付けられるように配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「思考力・判断力・表現力等」に関連して、各単元の活動はそれぞれのステップに応じて思考力・判断力・表現力を育成することができるような発問が設定されており、課題の合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それを表現することができるように配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○各章扉では、小学校から高校までの学習内容が明示されており、系統性のある学習ができるように配慮されている。また道徳との関連が示されている。</p> <p>○学習課題の共有や実感を伴った理解などを目的として、質の高い動画やシミュレーション、思考ツール、章末問題など、さまざまな学習場面で活用できるデジタルコンテンツが豊富に用意されている。</p> <p>○情報化社会の進展に対応していくために、健康情報や防災情報、性情報などを正しく選択し、適切に行動することの重要性が、本文、口絵、資料で明記されている。</p> <p>○『巻末スキルブック』には『リラクセーションの方法』など健康や安全に関する20のスキルが分かりやすくまとめられている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○重量による生徒の身体的負担に配慮し、丈夫で軽量化された用紙が使用されている。</p> <p>○目に優しいつや消しの白色再生紙が使用されている。</p> <p>○3年間の使用に耐えられるように、表紙には汚れにくく防水効果、強度を高めるPP加工が施されている。</p>

保健体育

発行者の略称	大日本
書名	中学校 保健体育
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項に示された、「幅広い知識と教養」に関連して、小单元ごとに、『学習のねらい』から『活用して深めよう』までの課題解決型学習によって、自ずと保健及び体育に関する知識を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○学習指導要領に示された「思考力・判断力・表現力等」に関連して小单元ごとの課題を発見する活動『つかもう』、課題を解決する活動『やってみよう』『話し合ってみよう』『調べてみよう』、学習したことを活かす活動『活用して深めよう』などのさまざまな活動により、総合的に育成されるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列になるように工夫されている。</p> <p>○『ミニ知識』や『トピックス』など多様な資料が掲載されており、個に応じて学習を深めることができるように配慮されている。</p> <p>○全学年とも指導内容を体系化して、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容をわかりやすく、より実践的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○教科横断的な視点に立った資質・能力の育成が図れるように他教科に関連した題材を適宜扱うとともに、他教科に関連していることが一目でわかるようマークで示している。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○イラストや写真は生徒の学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりするようなものに厳選されている。</p> <p>○表紙は丈夫で汚れにくい『UVラミコート』を施すなど、3年間の使用に十分耐えられる造本になっている。</p> <p>○記号やマークは、生徒の発達段階に応じて、興味・関心を引き、理解を助けるようなものに工夫されているとともに、マークの名称も添えてそれぞれの内容がわかるように配慮されている。</p>

保健体育

発行者の略称	大修館
書名	最新 中学校保健体育
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項に示されている「幅広い知識と教養」に関連して、各章のはじめに『章とびら』、気づきや思考を促す『課題をつかむ』、能力の育成・定着を図る『学習のまとめ』を設けて、課題解決の過程を重視した内容を取り扱うように工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「思考力・判断力・表現力等」に関連して自らの思考の過程を客観的に捉えたり、多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりできるように『学習のまとめ』が工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○ストレス対処と応急手当の技能についての実習ページが設けられており、写真やウェブサイト上の映像資料を参考にできるようになっている。</p> <p>○『つかむ』『身に付ける・考える』『まとめる・振り返る』の3ステップの学習課程で構成されており、課題解決的な学習過程を通じて、思考力・判断力・表現力等が高まる工夫がされている。</p> <p>○体育・保健両分野に関連する『関連マーク』や、各分野の『体育の窓』『保健の窓』を設けて、両分野の関連を図った学びが展開できる工夫がされている。</p> <p>○『動画コンテンツ』『Web 保体情報館』『Web ワークシート』『保体クイズにトライ!』の4つのデジタル教材が用意されておりICTを活用した授業が行えるように配慮されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○本文と資料が明確に区別され、色覚特性ごとの見え方に配慮されたカラーユニバーサルデザインが使われている。また、見やすさと読みやすさを高めるためにユニバーサルフォントが使用されている。</p> <p>○軽量で耐久性に優れた用紙を使用し、教科書の判型拡大やページ増に伴う重量の増加を極力抑えている。</p> <p>○学年の発達段階に応じて、易しい表現を用いており、資料やイラストが多用され、視覚的にも理解できるように配慮されている。</p>

保健体育

発行者の略称	学研
書名	新・中学保健体育
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項に示されている「幅広い知識と教養」に関連して、保健体育の学びがウェルビーイングの向上につながるように、学びを活用する問いかけや、章の冒頭で学習内容に関連した人物や事柄の紹介がされている。</p> <p>○学習指導要領に示された「思考力・判断力・表現力等」に関連して「主体的・対話的で深い学び」の視点で学習を進められるよう『課題の発見』『課題の解決』『学びの活用』といった授業の流れで構成されている。</p>
内容と構成	<p>○各時間の最初に『ウォームアップ』を設け、興味・関心を高め、自ら学習課題を発見できるようにし、主体的な学びにつながりやすいよう工夫されている。</p> <p>○基本構成の繰り返しにより、課題解決的な学習を身に付けられるように工夫されている。</p> <p>○各時間の紙面右下に『とりくメーカー』を設け、学習への取り組み度合や興味・関心などを振り返り、主体的な学びの循環を促すような工夫がされている。</p> <p>○生徒の興味・関心に応じて、より深い学びに結び付けられるよう、各章末に『探究しようよ』、各学年末に『学習の終わりに』を設定し、振り返りや今後の学習につなげられるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○1時間見開き2ページを基本とし、見通しを持って学習できるように配慮されている。</p> <p>○イラストは、多様性に配慮し、登場する人物の男女比率、役割・背景などに偏りなく表現されている。</p> <p>○サステナビリティに配慮し、環境に配慮して作成された目に優しい色合いの用紙、植物油インキを使用し、環境負荷の小さいCTP方式で印刷されている。</p>

技術・家庭（技術分野）

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	○教育基本法第2条2項に示されている「職業及び生活」に関連して、社会とかかわるコラム『技術の匠』はものづくりにおける責任感や倫理観、工夫・創造することの大切さなどを伝えるとともに、職業観・勤労観が養われるように配慮されている。 ○教育基本法第2条3項に示されている「男女の平等」に関連して、グループでの話し合い活動や男女が協力して作業する姿が写真やイラストで示されている。 ○『TECH Lab（テックラボ）』には問題解決のために身に付ける必要がある基礎技能について、わかりやすくまとめてあり、製作の見通しをもって学習できるように工夫されている。
教図	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト	○教育基本法第2条3項に示されている「男女の平等」に関連して、紙面に掲載されるイラストや写真は、男女の数を同程度にすることで男女平等に配慮されている。 ○別冊『スキルアシスト』には実習中に作業を確認できるよう加工法が詳細に掲載されている。さらに、デジタルコンテンツでは製作上の成功例と失敗例を確認でき、生徒の事前学習や自己評価に役立つように配慮されている。 ○設計・計画に必要な要素を多数掲載し、生徒が自ら問題解決できる工夫がされ、『やってみよう』には、レポートのまとめ方について記入見本を提示することで生徒が取り組みやすくなるように配慮されている。

開隆堂	<p>技術・家庭 技術分野</p> <p>テクノロジーに 希望をのせて</p>	<p>○教育基本法第2条5項に示されている「伝統と文化を尊重し」に関連して、日本の伝統的な技術や、先人の知恵、技能が日本の文化を支え発展させてきたことを理解し、自らの生活の中で継承・発展できるよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「技術による問題解決」に関連して、『問題解決の手順』が幅広く紹介され、創造性や自主性及び自立性を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>○問題解決的な学習の導入では生徒に問題意識をもたせ『CHECK』でふりかえり、自ら解決しようとする資質・能力が養われるように工夫されている。</p>
-----	---	--

技術・家庭（技術分野）

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条2項に示されている「職業及び生活」に関連して社会とかかわるコラム『技術の匠』は、ものづくりにおける責任感や倫理観、工夫・創造することの大切さなどを伝えるとともに、職業観・勤労観が養われるように配慮されている。</p> <p>○教育基本法第2条3項に示されている「男女の平等」に関連して、グループでの話し合い活動や男女が協力して作業する姿が写真やイラストで示されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「技術による問題解決」に関連して、『問題解決例』を数多く取りあげ、学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な学習活動が行えるように工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○各編の導入では『技術分野ガイダンス』にある『最適化の窓』に戻り、社会からの要求を見ることで技術の見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。また、『学習のまとめ』は関連ページが記載されており、学習の振り返りに役立つよう工夫されている。</p> <p>○『TECH Lab（テック ラボ）』には問題解決のために身に付ける必要がある基礎技能について、わかりやすくまとめてあり、製作の見通しをもって学習できるように工夫されている。</p> <p>○問題解決的な学習の導入では、さまざまな思考ツールや二次元コードのデジタルコンテンツ、生徒にとって身近な事例が取り上げられており、個別最適な学びや協働的な学びに取り組める工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○大判の紙面を生かし、大きく鮮明な写真や図版が多数掲載されていて、生徒の学習への意欲を喚起する装丁となっている。</p> <p>○文章表現は、中学校以降で学習する常用漢字にはすべてふりがなが付されている。</p> <p>○教科書の活用の仕方が掲載されておりレイアウトは統一感がある。</p>

技術・家庭（技術分野）

発行者の略称	教図
書名	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条2項に示されている「職業及び生活」に関連して高等専門学校と職業を紹介するコラム『技ビット』で学習内容と生活との関連を生徒が意識することができるように配慮されている。</p> <p>○教育基本法第2条3項に示されている「男女の平等」に関連して、紙面に掲載されるイラストや写真は、男女の数を同程度にすることで男女平等に配慮されている。</p> <p>○問題解決の手順を丁寧に示すことで、技術をいかした問題解決能力を育めるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○設計・計画に必要な要素を多数掲載し、生徒が自ら問題解決できる工夫がされ、『やってみよう』には、レポートのまとめ方について記入見本を提示することで生徒が取り組みやすくなるように配慮されている。</p> <p>○別冊『スキルアシスト』には実習中に作業を確認できるよう加工法が詳細に掲載されている。また、デジタルコンテンツでは製作上の成功例と失敗例を確認でき、生徒の事前学習や自己評価に役立つように配慮されている。</p> <p>○紙面の『〈見つける〉→〈学ぶ〉→〈振り返る〉』は生徒が学習の見通しが持てるように工夫されている。また、生徒が主体的に自学自習ができるように丁寧に文章の記述がされており、取り組みやすい題材が取り上げられている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○各内容の分量は、偏りなく構成され、本文の理解を助けるために必要な写真・イラスト・図表などが適切な箇所に配分されている。</p> <p>○写真が細部まで鮮明に印刷されており、完成品のイメージをもたせやすい。文字も大きく余白が適度にあり、読みやすいレイアウトになっている。</p> <p>○巻末の『設計・計画シート』『計画・育成シート』は切り取ることができ、より活用しやすいように工夫されている。</p>

技術・家庭（技術分野）

発行者の略称	開隆堂
書名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条2項に示されている「職業及び生活」に関連して各分野の技術に関する職業の理解を通して、職業観・勤労観を育み勤労を重んずる態度を養えるよう工夫されている。</p> <p>○教育基本法第2条5項に示されている「伝統と文化を尊重し」に関連して、日本の伝統的な技術や、先人の知恵、技能が日本の文化を支え発展させてきたことを理解し、自らの生活の中で継承・発展できるように工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に示された「技術による問題解決」に関連して、『問題解決の手順』が幅広く紹介され、創造性や自主性及び自立性を養うことができるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○各内容は、導入→基礎学習→展開→まとめ・評価の順に構成され、各段階とも生徒の学習意欲を高めながら、問題解決的な学習を系統的に進められるように工夫されている。</p> <p>○問題解決的な学習の導入では生徒に問題意識をもたせ、『CHECK』でふりかえり、自ら解決しようとする資質・能力が養われるように工夫されている。また、各内容では様々な技術を組み合わせた実習を取り上げ、社会の問題に技術で対応するための考え方を深められるように工夫されている。</p> <p>○小学校での学習と他教科との関連をそれぞれの分野ごとに記載し、学習内容と関連した二次元コードは、個別最適な学びが実現できるように工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○薄くて丈夫で軽量化された用紙が使用されており、生徒の負担に配慮されている。重要語句は特に大きく表記し、図版も充実しており生徒の学習への興味・関心を喚起する工夫がされている。</p> <p>○大判な紙面を生かし、レイアウトは見開きを有効に活用しており、本文及び参考などが明確に区分されている。</p> <p>○奇数ページの右上にページが開きやすい『爪見出し』が設けられている。</p>

技術・家庭（家庭分野）

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を生かして	<p>○特に衣服の手入れにおいては、小学校の既習事項を復習した後、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで学習が系統的に進められるよう記載されている。</p> <p>○動画やシミュレーションを含む解説などが充実した二次元コードによって、授業の効率化が図れるように工夫されている。</p> <p>○6つの食品群について、実物大の写真や折り込みページを活用した食品や料理、献立の写真を充実させることで、生徒の興味・関心を引き出し、学習を深めることができるよう工夫されている。</p>
教図	新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	<p>○衣食住の生活に関わる日本の伝統文化を取り上げることで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。</p> <p>○実物大の食品写真や、地域ごとの野菜・郷土料理など、視覚的に興味を引くことができる工夫がされているとともに、充実した資料が掲載されている。</p> <p>○選択学習のページでは、性別や人種、年齢や障がいの有無などにかかわらず、協力・協働していくことができるよう、本文の記述やイラスト・写真などが配慮されている。</p>
開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	<p>○災害や防災などの事例を積極的に取り上げ、日常的に防災への意識を高め、生命を尊ぶ態度を身に付けられるように構成されている。</p> <p>○諸外国に目を向ける事例を豊富に取り上げ、世界の国々に関心を持ち、他国と協力してこれからの国際社会に貢献しようとする態度を育むようにされている。</p> <p>○スキムミルクの無機質が灰になって残ることを例に、科学的根拠に基づいた知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。</p>

技術・家庭（家庭分野）

発行者の略称	東書
書名	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を生かして
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に基づき、主体的に思考・判断・表現しながら生活の中の問題解決に取り組むことを重視し、自主及び自律の精神を養うことができるように配慮されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示されている「たくましく生きる力」「社会とかかわる力」に関連して、特にP. 279では課題と実践例が多く取り扱われ、自宅について考える等目標が明確になるような工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○特に衣生活『衣服の手入れ』においては、小学校の既習事項を復習した後、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで学習が系統的に進められるよう記載されている。</p> <p>○授業が組み立てやすい見開き構成になっており、育成すべき資質・能力を各節の冒頭に「目標」として明確に示すことで、指導と評価の一体化を図ることができるように工夫されている。</p> <p>○「生活の課題と実践について」においては、各学校の実態に応じて選択して履修できるよう、巻末にまとめられている。</p> <p>○動画やシミュレーションを含む解説などが充実した二次元コードによって、授業の効率化が図れるように工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○生徒が意欲的に学習に取り組めるように、イラストや写真、レイアウトを工夫し、楽しい紙面になるよう工夫されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされている。</p> <p>○6つの食品群について、実物大の写真や折り込みページを活用した食品や料理、献立の写真を充実させることで、生徒の興味・関心を引き出し、学習を深めることができるよう工夫されている。</p>

技術・家庭（家庭分野）

発行者の略称	教図
書名	新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学校教育法第2条第3号に基づき、男女共同参画社会に関する資料を掲載したり、イラストや写真で男女のバランスに配慮したりすることで、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるように配慮されている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンにある「たくましく生きる力」「社会とかかわる力」に関連して、生徒が課題を発見し、解決するプロセスを通して資質・能力を高めることができるように配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○衣食住の生活に関わる日本の伝統文化を取り上げることで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。</p> <p>○実物大の食品写真や、地域ごとの野菜・郷土料理など、視覚的に興味を引くことができる工夫がされているとともに、充実した資料が掲載されている。</p> <p>○選択学習のページでは、性別や人種、年齢や障がいの有無などにかかわらず、協力・協働していくことができるよう、本文の記述やイラスト・写真などが配慮されている。</p> <p>○各学習の初めにある「見つめる」という導入部分では、興味を抱きやすい写真や1コママンガを配置し、生徒一人一人が関心をもてるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○UDフォントを使用し、本文の文字のサイズを大きくしている。また、キーワードは青文字で区別がつきやすいよう工夫されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮して、グラフの隣り合う色同士も視認しやすい工夫がされている。</p> <p>○3年間の使用にも十分耐えられるよう、表紙は防水加工で丈夫な製本がされている。</p>

技術・家庭（家庭分野）

発行者の略称	開隆堂
書名	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○学校教育法第2条2項に基づき、自律をテーマに生活を問い直し、改善できるよう考え、体験する学習を充実させている。</p> <p>○かながわ教育ビジョンに示された「たくましく生きる力」「社会とかかわる力」に関連して、P.81では共生社会をテーマに様々な人と関わり合っていくことの必要性を理解し、人々と支え合い、分かち合い、これからの社会を考えられるよう地域との連携に関する事例を掲載する等の工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○災害や防災などの事例を積極的に取り上げ、日常的に防災への意識を高め、生命を尊ぶ態度を身に付けられるように構成されている。</p> <p>○諸外国に目を向ける事例を豊富に取り上げ、世界の国々に関心を持ち、他国と協力してこれからの国際社会に貢献しようとする態度を育むようにされている。</p> <p>○特に『生活の課題と実践』では、生徒に身近な食生活が取り上げられており、生徒の日常生活の中から問題を見だし、課題を設定すること等ができるようにヒントを提示し、主体的にさまざまな解決方法を考える手立てが示されている。</p> <p>○スキムミルクの無機質が灰になって残ることを例に、科学的根拠に基づいた知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○カラーユニバーサル視点から、図やグラフの輪郭の配色など、弱視の子どもたちも読み取りやすい配慮がされている。</p> <p>○重要語句は太字（ゴシック体）にして、表記のめりはりをつける工夫がされている。</p> <p>○読みやすい書体・大きさのユニバーサルデザインフォントを使用して、生徒の発達段階に考慮し、また支援を要する生徒にも配慮がされている。</p>

外国語（英語）

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	NEW HORIZON English Course	<p>○言語材料の知識と技能を基にした、生徒が自分で思考し判断したことを適切に表現する言語活動『Stage Activity』を設定し、コミュニケーション能力のための段階的な活動が用意されている。</p> <p>○取り扱っている題材や人物の出身国など、多様性について気づきを促す『ダイバーシティメモ』が設けられている。</p> <p>○教育基本法第2条に関連して、英語を通して他者とながら体験を積み上げ、国際交流において自らの行動について考えることができるよう配慮されている。</p>
開隆堂	Sunshine English Course	<p>○理解を深め達成感が得られるような学習の進め方ができるよう、各単元の始めに新出表現に関する知識技能を習得し、単元末には題材に関連したテーマで行う自己表現活動が設けられている。</p> <p>○日常生活だけでなく、他国の自然や動物に関わる話題や環境に関する題材があり、豊かな感性を磨くことができるよう工夫がされている。</p> <p>○全学年を通して配当時間数が100時間以内に設定され、生徒の実態に応じた指導ができるように配慮されている。</p>
三省堂	NEW CROWN English Series	<p>○フードコートでの店内放送や注文の仕方など生徒に興味関心をもたせる題材に加え、英語を使う必然性のある目的や場面、状況がバランスよく配置されている。</p> <p>○各単元末の言語活動『Goal Activity』では、深い学びにつながる課題を設定し、生徒が主体的に考え、自分の気持ちを表現できるように工夫がされている。</p> <p>○学習指導要領の「話すこと〔やり取り〕」の目標に基づき、日常的な話題や社会的な話題について即興で会話を続けたり、感じたことを伝えあったりできるように意図されている。</p>

教出	ONE WORLD English Course	<p>○新出単語において、小学校の発信語と分けて併記することで小学校での学習の復習とともに、中学校での学習が円滑に進むよう設計されている。</p> <p>○各単元の最後に達成度を振り返る欄と巻末には4技能5領域ごとに振り返る『Can-Do 自己チェックリスト』があり、学習の見通しをもって取り組める工夫がされている。</p> <p>○目安となる指導時数が100時間を超えており、復習から発展的な学習など継続的に学習に取り組めるよう十分な時間設定がされている。</p>
光村	Here We Go! ENGLISH COURSE	<p>○各Unitの本文には、生徒にとって身近な話題が設定されたり、実社会で英語を使う場面が展開されたりしている。多様な文化や価値観を学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>○巻末の『英語の学び方ガイド』では、領域別の学び方や活動への取り組み方が紹介されており、生徒自身が英語の力を高めていくことができるように工夫されている。</p> <p>○教科書の付録や学び方ガイドなども十分に扱うことができるよう、指導時数の目安が各学年100時間程度に設定されている。</p>
啓林館	BLUE SKY English Course	<p>○各単元の始めに『Input』と『Output』の目標が明示されており、学習の見通しが立てられるよう工夫されている。また『Check』を活用し、生徒自身が学習を振り返る機会が設けられている。</p> <p>○各単元は、学習の見通しを立てる『とびら』、知識・技能を習得する『Part』、思考力・判断力・表現力を育成する『Think&Speak/Write』によって構成されている。</p> <p>○学校教育法第21条に関連して、地域社会の一員として主体的に地域のイベントや祭りに参画できるような態度を養えるよう工夫されている。</p>

外国語（英語）

発行者の略称	東書
書名	NEW HORIZON English Course
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、英語を通して他者とつながる体験を積み上げ、国際交流の場面において自らがとるべき行動について考えることができるよう配慮されている。</p> <p>○学校教育法第21条に関連して、世界に日本の良さを発信しようとする生徒を育てるために、伝統文化、自然に関する題材を取り上げており、我が国の郷土を愛する態度を養うよう意図されている。</p> <p>○学習指導要領に関連して自分の考えを深め、それを表現につなげるコミュニケーション活動が充実している。</p>
内容と構成	<p>○1年生では、小学校との円滑な学びの接続のために、音を中心とする学習から5つの領域の力をバランスよく育成することができるように構成が工夫されている。</p> <p>○取り扱っている題材や人物の出身国など、多様性について気づきを促す『ダイバーシティメモ』が設けられている。</p> <p>○言語材料の知識と技能を基にした、生徒が自分で思考し判断したことを適切に表現する言語活動『Stage Activity』を設定し、コミュニケーション能力のための段階的な活動が用意されている。</p> <p>○各単元は目的・場面・状況に合わせた導入にはじまり、『Part』『Read and Think』で言語活動を積み上げ、単元末の『Unit Activity』でまとめるように構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○重要語彙が認識しやすいよう太字で記載されており、生徒にとってメリハリのある効率的な学習ができる構成になっている。</p> <p>○3年間で800語を発信まで使えるようになりたい語に設定し、くり返し提示することで定着を促す工夫がなされている。</p> <p>○多くの単元末に読解力を伸ばす目的の教材が配置されており、文章の読み方を身につけるとともに、自分の考えが表現できるような工夫がなされている。</p>

外国語（英語）

発行者の略称	開隆堂
書名	Sunshine English Course
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、全学年の題材を通して社会生活において活用できる知識と教養を身に付け、友情や周囲への思いやりの気持ちなどを育めるよう配慮されている。</p> <p>○学校教育法第21条に関連して、地域社会の一員である意識を高め、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫されている。</p> <p>○全学年を通して1単元の中に学習指導要領の「聞く」「読む」「話す」「書く」活動が配置されており、5領域について総合的な指導ができるよう工夫・配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○巻頭の『Get Ready』では、英語すごろく等で小学校英語を振り返る活動ができるよう工夫がされている。</p> <p>○理解を深め達成感が得られるような学習の進め方ができるよう、各単元の始めに新出表現に関する知識技能を習得し、単元末には題材に関連したテーマで行う自己表現活動が設けられている。</p> <p>○3学年を通してSDGsに対応した題材がバランスよく取り上げられ、様々な角度から学習を進める工夫がされている。</p> <p>○日常生活だけでなく、他国の自然や動物に関わる話題や環境に関する題材があり、豊かな感性を磨くことができるよう工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○全学年を通して配当時間数が100時間以内に設定されており、生徒の実態に応じた指導ができるように配慮されている。特に1年生では小学校とのスムーズな接続を図れるよう授業時数にゆとりをもたせる配慮がなされている。</p> <p>○重要語彙が認識しやすいよう太字で記載されており、生徒がメリハリのある効率的な学習ができるよう構成されている。</p> <p>○新出文法、本文理解、学習のまとめといった1単元の流れが視覚的に理解しやすいよう構成されている。</p>

外国語（英語）

発行者の略称	三省堂
書名	NEW CROWN English Series
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、幅広い知識と教養を身に付け、身の回りの問題や社会的な課題について考える機会を与えられるように配慮されている。</p> <p>○学校教育法第21条1項に関連して、さまざまな人や文化に触れながら社会の多様性を理解できるように教材が工夫されている。</p> <p>○学習指導要領の「話すこと〔やり取り〕」の目標に基づき、日常的な話題や社会的な話題について即興で会話を続けたり、感じたことを伝えあったりできるように意図されている。</p>
内容と構成	<p>○1年冒頭には、「聞く」「話す」を中心とした小学校での学びを生かした活動ができるように工夫されている。</p> <p>○単元間にある『For Self-study』では自主学習の進め方が紹介されており、生徒自身が英語の力を高められるよう工夫がされている。</p> <p>○英語でのフードコートでの店内放送や注文の仕方など、生徒に興味関心をもたせる題材に加え、英語を使う必然性のある目的や場面、状況がバランスよく配置されている。</p> <p>○各単元末の言語活動『Goal Activity』では、深い学びにつながる課題を設定し、生徒が主体的に考え、自分の気持ちを表現できるように工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○発信語彙は小学校既習語で374語、中学校での新出語は622語が設定されており、語彙が精選されている。</p> <p>○小学校での既習語彙を分かりやすい記号を使い、新出語と区別して掲載することで、これまでのふり返りとさらなる定着を促す工夫がされている。</p> <p>○書き込みスペースを活用して、生徒が書く・話す活動を継続的に進められるよう配慮されている。</p>

外国語（英語）

発行者の略称	教出
書名	ONE WORLD English Course
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、自ら問い、考え続け、行動し、社会を創っていく生徒の成長を促すために、各題材が設定されている。</p> <p>○学校教育法第21条に関連して、身近な話題を中心に多様な社会、文化への理解、進路や将来のことへと考えを広げられるよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に基づき、資質・能力の3つの柱を総合的に育成できるよう英語で意思や情報を伝え合い、対話的な活動や協働して問題解決にあたる活動が盛り込まれている。</p>
内容と構成	<p>○新出単語において、小学校の発信語と分けて併記することで小学校での学習の復習とともに、中学校での学習が円滑に進むよう設計されている。</p> <p>○各単元の最後に達成度を振り返る欄と巻末には4技能5領域ごとに振り返る『Can-Do 自己チェックリスト』があり、学習の見通しをもって取り組める工夫がされている。</p> <p>○『Task』や『Project』では「聞くこと」と「書くこと」のように統合的に学ぶ活動を通して、生徒がこれまでの単元で学んできた知識や技能を活用して主体的に学べるよう工夫がされている。</p> <p>○SDGsにかかわる題材が多く、現代社会の問題を自らの課題として考える力を、英語を学びながら養えるように工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○目安となる指導時数が100時間を超えており、復習から発展的な学習など継続的に学習に取り組めるよう十分な時間設定がされている。</p> <p>○発信語彙は、小学校既習語から435語、中学校新出語から465語が設定されており、本文だけでなく、本文以外の部分でも扱うことで分散させ、学習時の負担を軽減する工夫がなされている。</p> <p>○単元ごとに4技能がバランス良く学べるよう、書き込みスペースが盛り込まれている。</p>

外国語（英語）

発行者の略称	光村
書名	Here We Go! ENGLISH COURSE
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、自他との敬愛を重んじ、友達と伝え合う喜びを感じられる言語活動を設定が設定されており、協力を重んじる態度を養うよう配慮されている。</p> <p>○学校教育法第21条に関連して、発達段階に応じて、国際理解を深めることができるよう多様なジャンルの題材が取り扱われている。</p> <p>○3年間を通じて、できるようになることを系統的に設計し、見通しをもって学習を進められるよう各学年の目標を構造化して明確に提示している。</p>
内容と構成	<p>○巻頭『Let's Be Friends!』では、小学校で学習した表現に触れ、小中の接続を意識させながら学習できるように工夫されている。</p> <p>○各Unitの本文には、生徒にとって身近な話題が設定されたり、実社会で英語を使う場面が展開されたりしている。多様な文化や価値観を学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>○巻末の『英語の学び方ガイド』では、領域別の学び方や活動への取り組み方が紹介されており、生徒自身が英語の力を高めていくことができるように工夫されている。</p> <p>○各単元は、『CAN-DO List』に基づき『扉・Part・Goal』の3つで構成されており、見通しをもちながら学習が進められるように構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○教科書の付録や学び方ガイドなども十分に扱うことができるよう、指導時数の目安が各学年100時間程度に設定されている。</p> <p>○重要語数は901語が設定されているが、特に1年生で約600語の発信語彙を学習することができ、1年生から充実した表現活動に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○帯教材では本文より短い寸法の紙を用いており、すぐにページを開くことができ、大切な表現が常に目に入るよう工夫されている。</p>

外国語（英語）

発行者の略称	啓林館
書名	BLUE SKY English Course
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条に関連して、言語活動を通して幅広い知識と教養を身に付けられるよう設定されている。</p> <p>○学校教育法第21条に関連して、地域社会の一員として主体的に地域のイベントや祭りに参画できるような態度を養えるよう工夫されている。</p> <p>○コミュニケーションの目的・場面・状況が明示されており、学習指導要領の5領域の言語活動がバランスよく取り入れられ、身に付ける領域が明確になっている。</p>
内容と構成	<p>○小中接続教材『Let's Start』が巻頭にあり、小学校英語の学習事項を振り返り中学校の学習に繋げる工夫がされている。</p> <p>○各単元の始めに『Input』と『Output』の目標が明示されており、学習の見通しが立てられるように工夫されている。また『Check』を活用し、生徒自身が学習を振り返る機会が設けられている。</p> <p>○SDGsの17の目標に関する題材を豊富に取り上げ、SDGsへの関心を高めるとともに、自分ができることを様々な視点から考えられるような構成の工夫がされている。</p> <p>○各単元は、学習の見通しを立てる『とびら』、知識・技能を習得する『Part』、読むこと聞くことの思考力・判断力・表現力を育成する『Think & Speak』『Think & Write』によって構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○余裕を持たせた配当時数により、生徒の実態に合わせてメリハリをつけて指導や活動が行えるように設定されている。</p> <p>○重要語が1040語設定されており、生徒の発達段階に応じて受容レベル・発信レベルの語彙力を育成できるような工夫がなされている。</p> <p>○聞くこと・話すことの活動を円滑に行うための、メモを取るページが配置されている。</p>

道徳

総合資料

発行者略称	書名	総合所見
東書	新編 新しい道徳	<p>○「考え、議論する道徳」を実現するために、各教材に『つぶやき』欄が設けられており、思ったことや考えたことを記入することで、話し合い活動を円滑に行えるよう工夫されている。</p> <p>○喫緊の課題である「いじめの防止」、「生命の尊重」について、ユニットとして3つの教材を組み合わせ、全学年で重点的に取り上げられている。</p>
教出	中学道徳 飛び出そう未来へ	<p>○生徒の発達段階に即した教材を系統的に配置している。第1学年では自分自身に関することが多く、第2,3学年では集団や社会との関わりを扱う教材の割合が大きくなるよう構成されている。</p> <p>○写真、絵本、漫画など、内容が理解しやすい多様な教材が掲載されている。また、考える時間を十分に確保し、生徒の話し合いが円滑に進むよう構成されている。</p>
光村	中学校道徳 きみが いちばん ひかるとき	<p>○主体的に学ぶ力を育てるため、1年間の初めに道徳は何を学ぶ教科なのかを自覚し、自分なりの学びの目標がもてるよう構成されている。内容項目が生徒に親しみやすいイラストと言葉で示されている。</p> <p>○巻末に『まなびの記録』が設けられ、自身の変化や成長を自覚でき自尊感情を高め、主体的に学ぼうという意欲につながる工夫がされている。</p>

日文	<p>中学道徳 あすを生きる</p> <p>中学道徳 あすを生きる 道徳ノート</p>	<p>○「考え、議論する道徳」や対話的・協働的な学びの実現のため、グループトーク、付箋や思考ツールを活用したより効果的な議論の方法が『学びを深めるヒント』などで示されており、話し合い活動が円滑に進む工夫がされている。</p> <p>○別冊『道徳ノート』には、友達の意見や話し合いをメモし、多面的・多角的に考えられる配慮がされている。</p>
学研	<p>新版 中学生の道徳 明日への扉</p>	<p>○持続可能な世界に向けて、現代の課題（SDGs）について考えを深めるために、自然愛護等について考える教材が用意されている。</p> <p>○情報モラルだけではなく、デジタル技術を用いて積極的に社会参画し、活用するためのスキルやマインドセット（デジタルシチズンシップ）について生徒が考えられる工夫がされている。</p>
あか図	<p>中学生の道徳</p>	<p>○各学年の最初の教材に『道徳 始まりの時間』が設けられており、授業開きとして用いることで、現在の自分を見つめるように促される。そこには、偉人の名言等が記載されており、新学年の始まりに道徳の学び方を理解できるような工夫がされている。</p> <p>○近年活躍したスポーツ選手の教材を扱っており、生徒が興味関心をもちやすい工夫がされている。</p>
日科	<p>道徳 中学校</p>	<p>○一部の教材において、導入として4コマ漫画が掲載され、内容項目についてイメージをもちやすいよう工夫されており、学習上の困難を抱えている生徒も活動に参加しやすいよう配慮されている。</p> <p>○議論する道徳につながるよう、生徒が自身の価値観をまとめたり、他者に伝えたりするのに役立つ『ウェルビーイングカード』が巻末に設けられている。</p>

道徳

発行者の略称	東書
書名	新編 新しい道徳
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項に示されている「豊かな情操と道徳心を培う」に関連して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度が育つ教材が、バランスよく配置されている。</p> <p>○学習指導要領に示されている内容項目に関連して、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育むよう配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○教科書は、本編教材、『P l u s』（コラム）、付録教材の3つで構成され、教材末の発問『ぐっと深める』で考えを深めたり、教材と関連したテーマをさらに深化・拡充させるコラムを通して役割演技などの体験的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○「考え、議論する道徳」を実現するために、各教材に『つぶやき』欄が設けられており、思ったことや考えたことを記入することで、話し合い活動を円滑に行えるよう工夫されている。</p> <p>○喫緊の課題である「いじめの防止」、「生命の尊重」について、ユニットとして3つの教材を組み合わせ、全学年で重点的に取り上げられている。</p> <p>○読み物教材に加え、写真や挿絵、ポスターなどのビジュアルから考える教材や漫画を活用した教材、グラフから考える教材など、様々なジャンルや形態で構成されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○生徒が読みやすい平易な文章になっており、本文は視認性の高いユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、軽量で丈夫な用紙、視覚効果の高いワイドなA B判が採用されている。</p> <p>○挿絵や写真、図版は、見やすい大きさと、適切な位置に配置されている。また、印刷は、鮮明で見やすく、目に優しい色を基調に構成されている。</p>

道徳

発行者の略称	教出
書名	中学道徳 飛び出そう未来へ
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第2項に示されている「個人の価値を尊重」に関連して、自己肯定感の向上や、第3項の「正義と責任」に関連して偏見や差別、いじめ問題について考えられるようにユニット構成がされている。</p> <p>○学習指導要領の目標の「道徳的な判断、心情、態度を育てる」に関連して、物事を広い視野から多面的・多角的に考えさせ、道徳的価値を自分との関わりで深められるよう多種多様な教材で構成されている。</p>
内容と構成	<p>○生徒の発達段階に即した教材を系統的に配置している。第1学年では自分自身に関するものが多く、第2, 3学年では集団や社会との関わりを扱う教材の割合が大きくなるよう構成されている。</p> <p>○ユニットという独自の形態でいじめ等の人権問題、持続可能な社会生命の尊さについて3年間学べるよう構成されている。1ユニットあたり6ページほどあり、コミュニケーションスキルを学べるコラムがあるなど、問題の本質を深められるよう工夫されている。</p> <p>○写真、絵本、漫画など、内容が理解しやすい多様な教材が掲載されている。読むことに時間を取られず、考える時間を十分に確保し、生徒の話し合いが円滑に進むよう構成されている。</p> <p>○これからの生き方を前向きに考えることができるように未来志向の教材が構成されている。具体的には、多様な人物の生き方に触れ、自分なりの生き方を考えることを促し、防災や人権、情報モラル、SDGsなどを、将来に繋げて考えられるよう工夫されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォント、改行位置の配慮など、すべての生徒が学びやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○B5判ですべて再生紙であり、表紙は環境に配慮した特殊コーティングが施され、抗菌加工がされている。</p>

道徳

発行者の略称	光村
書名	中学校道徳 きみが いちばん ひかるとき
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第4項に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う」に関連し、生命の連続性・有限性、偶発性に触れながら、かけがえのない命を大切にしようという心を育む工夫がされている。特に第1学年『ひまわり』は生徒がより身近に感じられる題材である。</p> <p>○学習指導要領の目標の「道徳的な判断、心情、態度を育てる」に関連して、自分に引き寄せて考えたり、見方を変えて問題を解決するために話し合ったり、生き方についての考えを深めたり、多面的・多角的に考えられる工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○主体的に学ぶ力を育てるため、1年間の初めに道徳は何を学ぶ教科なのかを自覚し、自分なりの学びの目標がもてるよう構成されている。『道徳で学ぶ22のキーワード』では、内容項目が生徒に親しみやすいイラストと言葉で示されている。</p> <p>○各学年、『問う』で道徳の学び方が整理されており、学びに向かう姿勢を意識することができるよう配慮されている。</p> <p>○巻末に『まなびの記録』が設けられ、自身の変化や成長を自覚でき自尊感情を高め、主体的に学ぼうとする意欲につながる工夫がされている。</p> <p>○各学年、読みの負担を軽減し、話し合いの時間を十分に確保するため、挿絵と短い文章で端的に示した教材を配し、議論する道徳につながるよう工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○中学校以上配当の常用漢字全てに振り仮名を付してあり、脚注も随所に配され、全学年を通して読みの負担を軽減する配慮がされている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインの専門家の校閲をうけたことにより、色覚特性をもつ生徒が学習に支障を来すことがないように、十分な配慮がされている。</p>

道徳

発行者の略称	日文
書名	中学道徳 あすを生きる・中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項に示されている「豊かな情操と道徳心を培う」に関連して、問題解決的な学習や体験的な学習などに適している教材には学習の進め方や深め方を示す、『学びを深めよう』ページが示されている。</p> <p>○学校教育法第30条第2項に示されている「主体的に取り組む態度を育む」に関連して、生徒が興味関心をもって学習できるよう、身近な生活場面から文学作品まで、多岐にわたる教材が選ばれている。また、教材の冒頭に『学びのキーワード』を示すことで、学びの見通しをもち、主体的に学習できるよう配慮されている。</p>
内容と構成	<p>○「考え、議論する道徳」や対話的・協働的な学びの実現のため、グループトーク、付箋や思考ツールを活用した、より効果的な議論の方法が『学びを深めるヒント』などで示されており、話し合い活動が円滑に進むように工夫されている。</p> <p>○環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる諸問題について、発達段階に即した教材が系統的に配置されている。</p> <p>○別冊『道徳ノート』には、友達の意見や話し合いをメモすることができ、多面的・多角的に考えられるように配慮されている。</p> <p>○すべての教材に二次元コードが表示されており、デジタルコンテンツを活用することで、生徒が興味関心をもち、個別最適、協働的な活動にも資するよう配慮されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文の割り付けは読みやすいまとまりで折り返したり、教材名の下に主な登場人物の欄を配置したりするなど教材が読みやすいよう配慮されている。</p> <p>○本冊、別冊ともにB5判を採用し、教室の机上で扱いやすいよう配慮されているとともに、現行の教科書より軽量化されている。</p>

道徳

発行者の略称	学研
書名	新版 中学生の道徳 明日への扉
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第3項に示されている「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」に関連した内容項目が、生徒の発達段階に考慮し、3学年を通して多く取り入れられている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念」に関連して、生命の尊さといじめ防止を最重点テーマとし、各学年において様々な教材を用い、発達の段階が考慮されている。特に、いじめ防止については多面的・多角的に取り組まれていて、話題の漫画の一場面を取り上げたり、SNSツールの使い方を問いかけたりするような、生徒の興味関心を引く工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○自己肯定感を高め、すべての人が自分らしく生きられる社会を実現するために、多様性について自分事として考えられるような教材の工夫がされている。また、セクシャルマイノリティについて、発達段階に即した教材が系統的に配置されている。</p> <p>○「考え、議論する道徳」を実現するために、各教材にメモ欄が設けられており、思ったことや考えたことを記入することで、話し合い活動を円滑に行えるよう工夫されている。</p> <p>○持続可能な世界に向けて、現代の課題（SDGs）について考えを深めるために、自然愛護等について考える教材が用意されている。</p> <p>○情報モラルだけではなく、デジタル技術を用いて積極的に社会参画し、活用するためのスキルやマインドシップ（デジタルシチズンシップ）について生徒が考えられる工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、カラーユニバーサルデザインを採用し、図表などの見分けがしやすいよう工夫されている。</p> <p>○視覚的に大きな広がりを感じられるA B判を採用し、図や写真が大きく表示されている。教材の内容理解を視覚的に助ける工夫がされている。</p>

道徳

発行者の略称	あか図
書名	中学生の道徳
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項に示されている「豊かな情操と道徳心を培う」に関連して、各学年の3か所に『マイ・プラス』を設置し、多様な学習活動を取り入れたり、重要なテーマを掘り下げたりすることで、課題解決に向けて多面的・多角的に思考を深められる工夫がされている。</p> <p>○教育基本法第2条第5項に関連して、各学年の巻末コラムでは該当する教材における様々な地域の事例が掲載され、「伝統と文化を尊重し、それを育んできた我が郷土を愛するとともに他国を尊重する態度を養う」工夫がされている。</p>
内容と構成	<p>○各学年の最初の教材に『道徳 始まりの時間』が設けられており、授業開きとして用いることで、現在の自分を見つめるように促される。そこには、偉人の名言等が記載されており、新学年の始まりに道徳の学び方を理解できるような工夫がされている。</p> <p>○現代的課題に向き合うために、『「いじめ」を考える』『情報モラル』『キャリア』『共に生きる社会』の4つのテーマをユニット化している。このユニットを3学年に配置し、発達段階に応じて教材を配置することで、継続して学びを深められる工夫がされている。</p> <p>○デジタルコンテンツでは、補助資料として、写真やイラストのみではなく、導入と終末に使える動画や参考となる外部ページを見ることができ、授業を円滑に進められるよう工夫されている。</p> <p>○近年活躍したスポーツ選手の教材を扱っており、生徒が興味関心をもちやすい工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○色の識別のみならず、マークの形状やデザインの違いで必要な情報を読み取れるような工夫や、読みやすさに配慮してユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p> <p>○軽量で持ち運びやすいB5判を採用し、机上で扱いやすいよう工夫がされている。</p>

道徳

発行者の略称	日科
書名	道徳 中学校
教育基本法・学校教育法及び学習指導要領等との関連	<p>○教育基本法第2条第1項に示されている「豊かな情操と道徳心を培う」に関連して、哲学史上長きにわたって問題とされている価値についての題材から、スマートフォンの使い方といった現代的な課題に関わる題材まで、様々な見方や考え方を包含し、生徒が課題意識を持ちやすい題材が取り入れられている。</p> <p>○学習指導要領に示されている「学びに向かう力」に関連して、巻頭において前年の道徳の時間と心の成長を振り返ることができるよう工夫されている。</p>
内容と構成	<p>○近年生徒が直面しているいじめ問題、情報モラル、LGBTQ2+など人権問題や社会的な問題を取り上げ、内容項目について考えられるような工夫がなされている。</p> <p>○一部の教材において、導入として4コマ漫画が掲載され、内容項目についてイメージをもちやすいよう工夫されており、学習上の困難を抱えている生徒も活動に参加しやすいよう配慮されている。</p> <p>○議論する道徳につながるよう、生徒が自身の価値観をまとめたり、他者に伝えたりするのに役立つ『ウェルビーイングカード』が巻末に設けられている。</p> <p>○日本の伝統、文化や歴史上の人物に関する題材が豊富であるとともに、国内各地の自然・文化・人を紹介する巻末折込資料があり、日本への愛着をもつことにつながる工夫がされている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>○カラーユニバーサルデザインの観点から、全ページにわたり配色とデザインが配慮されている。また、本文の主体文字にはユニバーサルデザインフォントを用い、視認性と読みやすさの向上が図られている。</p> <p>○文章や図絵が見やすいよう、紙面の広いA B判が採用されている。また、無線綴じで製本されており、十分な強度が確保されている。</p>